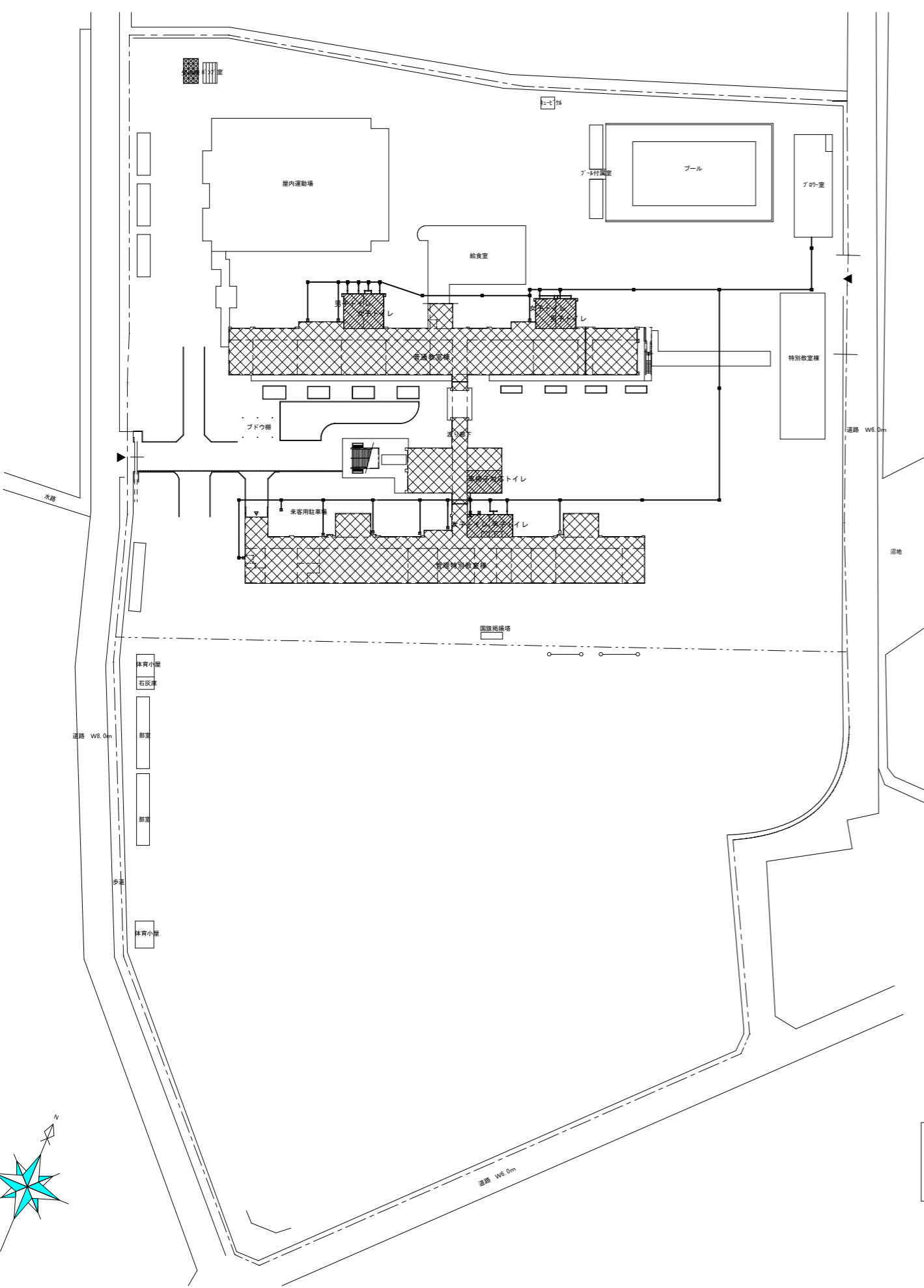


○その他	<p>(1) 図面上の縮尺は、JIS A1版とし縮尺とする。</p> <p>(2) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。</p> <p>(3) 特に騒音振動など周辺に大きな影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（一財）日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>	<p>18 空気熱源ヒートポンプ空調機</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R410A、R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>	<p>11 振音装置</p> <p>トイレブースに設置する。 衛生設備器具の適用等の必要なることは別途衛生設備器具表による。</p>	<p>② 洗面器等の排水管</p> <p>洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。</p> <p>③ 満水試験継手</p> <p>3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット</p> <p>④ 樹の適用</p> <p>別紙樹表による。</p>	<p>2025.7</p>																																																																						
	<p>1 設計温度</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>一般系統</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏 期</td> <td>37.1℃</td> <td>47.1%</td> <td>28</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.5℃</td> <td>49.4%</td> <td>20</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期温度50%とする。</p>		外 気		屋 内				温度 (DB)	湿度 (RH)	一般系統	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	37.1℃	47.1%	28	℃	%	℃	%	冬 期	0.5℃	49.4%	20	℃	%	℃	%	<p>1 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>	<p>●給水設備</p> <p>① 配管材料</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ※H1VP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シダー内配管)</td> <td>※SUS ※H1VP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ※H1VP</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (水道直結部分)</td> <td>※H1VP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ※H1VP ・水道用ポリエチレン管</td> </tr> <tr> <td>市営住宅 住戸内</td> <td>※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) ・架橋ポリエチレン管</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>・SUS ※H1VP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・H1VP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シダー内配管)</td> <td>※SUS ・H1VP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※H1VP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・H1VP ・ポリブテン管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. SUSとは、JIS G 3448 またはJIS G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (・圧縮 ・クランプ) ※括弧) 便所・廊下流し廻り露出配管 (※括弧) とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-11による。 3. 飲料水以外の給水用は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するための衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用樹を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (PE100) を採用し、管と継手を電気溶着にて接合するものをいう。 7. 地中埋設部 (水道直結部分) は水道事業者の指示による。 8. 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。 9. 住戸内は、さや管ヘッダー配管システムとする。</p>	施工箇所	管 種 別		床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ※H1VP ・ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シダー内配管)	※SUS ※H1VP ・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ※H1VP	地中埋設部 (水道直結部分)	※H1VP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)	地中埋設部 (一般部分)	・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ※H1VP ・水道用ポリエチレン管	市営住宅 住戸内	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) ・架橋ポリエチレン管	便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	・SUS ※H1VP ・ポリブテン管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・H1VP ・ポリブテン管	湿潤シダー内配管)	※SUS ・H1VP ・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS	地中埋設部 (一般部分)	※H1VP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)	便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・H1VP ・ポリブテン管	<p>○給湯設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>・露出部 M鋼管 その他 保温付被覆銅管 (M鋼管) ・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)</p> <p>2 絶縁フランジ</p> <p>取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分</p> <p>3 弁 類</p> <p>(1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-11による。</p> <p>4 ガス瞬間湯沸器</p> <p>※屋外設置の潜熱回収型 ・PS室内設置の潜熱回収型</p> <p>5 電気給湯器</p> <p>飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。</p>	<p>○消火設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>屋内消火栓用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設 ※SGP-VS ・H1VP ※高密度ポリエチレン管 (消火用) 消火用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設 ※SGP-VS ・H1VP ※高密度ポリエチレン管 (消火用) 不活性ガス消火用 ※STPG370 (白) Sch40 ・STPG370 (白) Sch80</p> <p>2 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準施工4 (・(a) ・(b) ・(c))</p>	<p>○ガス設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆銅管 ・SGP (白) 地中埋設 ※ガス用PE管</p> <p>2 漏洩検知装置</p> <p>漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。</p> <p>3 液化石油ガスの供給機</p> <p>ガス設備工事の施工者にガスの供給機は付帯しない。</p>
	外 気		屋 内																																																																								
	温度 (DB)	湿度 (RH)	一般系統	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																																				
夏 期	37.1℃	47.1%	28	℃	%	℃	%																																																																				
冬 期	0.5℃	49.4%	20	℃	%	℃	%																																																																				
施工箇所	管 種 別																																																																										
	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ※H1VP ・ポリブテン管																																																																									
ウエット厨房、浴室等の湿潤シダー内配管)	※SUS ※H1VP ・ポリブテン管																																																																										
保温をしない屋外露出部	※SUS ※H1VP																																																																										
地中埋設部 (水道直結部分)	※H1VP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)																																																																										
地中埋設部 (一般部分)	・水道配水用ポリエチレン管 (PE) ※H1VP ・水道用ポリエチレン管																																																																										
市営住宅 住戸内	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) ・架橋ポリエチレン管																																																																										
便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																																										
便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																										
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																										
その他の部分	・SUS ※H1VP ・ポリブテン管																																																																										
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・H1VP ・ポリブテン管																																																																										
湿潤シダー内配管)	※SUS ・H1VP ・ポリブテン管																																																																										
保温をしない屋外露出部	※SUS																																																																										
地中埋設部 (一般部分)	※H1VP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (PE)																																																																										
便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																																										
便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																										
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																										
その他の部分	※SUS ・H1VP ・ポリブテン管																																																																										
○空気調和設備	<p>2 総合試運転調整</p> <p>※本工事 ・別途 風量調整 ※する ・しない 水量調整 ・する ※しない 騒音の測定 ・する ※しない 室内外空気の温度の測定 ※する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する ・しない</p> <p>3 煙 道</p> <p>(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・4.5mm) (2) ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は80φとする) ・設けない</p> <p>4 煙 突</p> <p>※別途 ・本工事</p> <p>5 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p> <p>6 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・換気用耐火二層管 (大径認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注) 1 使用区分は図示による。</p> <p>7 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>8 チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパ及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>9 吹出口及び吸込口ボックス</p> <p>※亜鉛鉄板製 ・グラスウール製</p> <p>10 ダンパー</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>11 配管材料</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (3) フライング管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上)</p> <p>(5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (IAPAC) (相当品) ・耐火二層管VP (FDPS-1) ・配管用炭素鋼鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管VP (消防協議事項:) ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ 運 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨脹管、空気抜き管及び膨脹タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・</p> <p>(注) 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。</p>	<p>○換気設備</p> <p>② 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・換気用耐火二層管 (大径認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注) 1 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>4 チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>5 ダンパー</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p> <p>6 多湿箇所の排気ダクト</p> <p>(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (VU) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・) の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保 温</p> <p>下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・(口)・XIとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※ (※厨房 ・湯沸室 ・) 用の隠蔽ぺい部ダクト (仕様はh・(イ)・Ⅹとし範囲は図示による)</p> <p>⑧ 試運転調整</p> <p>風量調整 ・する ※しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ・する ※しない</p>	<p>○排煙設備</p> <p>1 ダクト</p> <p>※亜鉛鉄板 ・</p> <p>2 排煙口の形式</p> <p>※天井取付 (・スリット形 ※スイング形) ・壁取付 (・スリット形 ・スイング形)</p> <p>3 排煙口手動開放装置</p> <p>開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式 (遠隔操作 ・不要 ・要)</p> <p>4 排煙風量測定</p> <p>建築設備定期検査業務基準書 (一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。</p>	<p>○自動制御</p> <p>1 中央監視制御装置</p> <p>・有り ※無し</p> <p>2 構成・機能</p> <p>図示による</p> <p>3 電気計装用器材</p> <p>使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p>	<p>○衛生器具設備</p> <p>① 小便器用節水装置</p> <p>JIS B 2026 (自動水栓) による電気開閉式とし、小便器 (※一体形・分離形) とする。</p> <p>② バリアフリー対応</p> <p>・小便器 ※全部ストール形 ・一部ストール形 手すり (※本工事 ・別途工事) ・洗面器 ※自動水栓 (※全部 ・一部) ・レバー式水栓 (一部) ・シャワー ※サーモスタット式 ・ミキシング式 ※スライドバー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ・鏡 ※600×800 (耐食鏡) ・傾斜鏡 (・照明無 ・照明付)</p> <p>③ 衛生器具付属水栓</p> <p>(1) 器具付属水栓は ※ドライパー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。</p> <p>④ 自動水栓類の電源</p> <p>※AC100V ・乾電池等 ※自己発電</p> <p>⑤ 暖房便座</p> <p>(1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・温風乾燥 ・トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ・瞬間式 ※貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ・AC100V ・乾電池等 ※自己発電</p> <p>⑥ 大便器洗浄弁・洗浄用タンク</p> <p>器具表又は下記の場合を除き、※節水Ⅰ型・節水Ⅱ型とする。 ・洗浄弁操作方式は、※手動式 ・電気開閉式 (※センサー式 ・タッチスイッチ式) ・上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。</p> <p>⑦ 掃除流し</p> <p>※共栓なしとする。 ・共栓付とする。</p> <p>⑧ 排水器具用ゴミ継手</p> <p>※使用できる ・使用できない</p> <p>9 標 記 板</p> <p>大便器、小便器の洗浄水用に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。</p> <p>10 水せつけん入れ</p> <p>せつけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗いに設ける。</p>	<p>② 一体形タンク</p> <p>③ 水 栓</p> <p>※給湯用水栓を除き大きさを呼び13の水栓は、節水コマとする。 水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。</p> <p>4 量 水 器</p> <p>※観メーター (※貸与品 ・) ・子メーター (※買い取り ・)</p> <p>5 量水器樹</p> <p>※水道事業者指定品 ・標準図MC形</p> <p>⑥ 弁 類</p> <p>規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>7 水 栓 柱</p> <p>・防凍コンクリート水栓柱 (1200L) ※不凍給水栓</p> <p>8 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準施工4 (・(a) ・(b) ・(c))</p> <p>9 検針方法</p> <p>水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。</p> <p>10 水道利用加入金</p> <p>水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。</p> <p>11 本管取出し</p> <p>水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p>	<p>○給水設備</p> <p>① 配管材料</p> <p>配管材料は ※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP</td> </tr> <tr> <td>厨房等の温排水</td> <td>※SGP (白) ・</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管VP (FDPS-I) 又は耐火VP ・SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される場所</td> <td>※耐火二層管VP (FDPS-I) 又は耐火VP ・排水用/ホース 抄塗装鋼管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ※REP-VU (軽荷重の場合) ・RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管VP (FDPS-I) 又は耐火VP ・SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※リサイクルVVP又はRF-VVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. リサイクルVVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VVP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は排水配管の材料種別による。 3. 原則として排水配管、汚水配管の管接合部はY45度で行う。 4. 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。</p>	施工箇所	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP	厨房等の温排水	※SGP (白) ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-I) 又は耐火VP ・SGP (白)	その他の部分	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-I) 又は耐火VP ・排水用/ホース 抄塗装鋼管	その他の部分	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ※REP-VU (軽荷重の場合) ・RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-I) 又は耐火VP ・SGP (白)	その他の部分	※リサイクルVVP又はRF-VVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	<p>舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書</p> <p>第1条 この特記仕様書は、春日部市機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水 (以下「濁水」という。) の処理に関し必要な事項を定めるものである。</p> <p>第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ・種類及び処理量 汚泥 (油分を含む汚泥) m3 ・中間処理施設 市 地内、(株) ・処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶融含まず) ・中間処理後、最終処分場又は再資源化 (処理に焼却又は溶融を含む)</p> <p>第3条 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>第4条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥 (油分を含む汚泥) として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。</p> <p>第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。</p> <p>第6条 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>第7条 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p>																																													
施工箇所	管 種 別																																																																										
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP																																																																										
厨房等の温排水	※SGP (白) ・																																																																										
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-I) 又は耐火VP ・SGP (白)																																																																										
その他の部分	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																										
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP																																																																										
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-I) 又は耐火VP ・排水用/ホース 抄塗装鋼管																																																																										
その他の部分	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																										
地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ※REP-VU (軽荷重の場合) ・RF-VVP又はリサイクルVVP ・VP																																																																										
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-I) 又は耐火VP ・SGP (白)																																																																										
その他の部分	※リサイクルVVP又はRF-VVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																										



汚水樹リスト (西トイレ) ※ 樹深さは設計QLからの深さとする。

記号	樹寸法	樹深 (mm)	蓋 (mm)	樹間距離	勾配	耐荷重	備考
S-1	200φ-100A ST	500	200φ	1.2 m	2.0/100	塩ビ	小口径樹
S-2	200φ-100A 9ST	500	"	1.2 m	2.0/100	"	"
S-3	200φ-150A WY	550	"	1.2 m	2.0/100	"	"
S-4	200φ-150A ST	500	"	1.2 m	2.0/100	"	"
S-1a	200φ-100A DR	1030	200φ	0.5 m		塩ビ	小口径樹
S-2a	200φ-100A DR	1050	"	0.5 m		"	"
S-3a	200φ-150A DR	1080	"	0.5 m		"	"
S-4a	200φ-100A DR	1100	"	0.5 m		"	"
S-3b	200φ-150A 90L	500	200φ	0.5 m	2.0/100	塩ビ	小口径樹
S-3c	200φ-150A 90L	500	"	0.5 m	2.0/100	"	"

汚水樹リスト (東トイレ) ※ 樹深さは設計QLからの深さとする。

記号	樹寸法	樹深 (mm)	蓋 (mm)	樹間距離	勾配	耐荷重	備考
S-1 0	200φ-100A 90L	500	200φ	3.0 m	2.0/100	塩ビ	小口径樹
S-1 1	200φ-150A 90Y	560	"				
S-1 2	200φ-150A 90Y	580	"				
S-1 3	200φ-150A WY	600	"				
S-1 4	200φ-150A DR	1530	"	0.8 m	2.0/100	"	"
S-13a	200φ-100A 90L	500	200φ	2.2 m	4.5/100	塩ビ	小口径樹

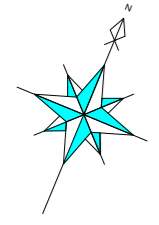
汚水樹リスト (管理棟トイレ) ※ 樹深さは設計QLからの深さとする。

記号	樹寸法	樹深 (mm)	蓋 (mm)	樹間距離	勾配	耐荷重	備考
S-2 0	200φ-100A ST	500	200φ	0.7 m	2.0/100	塩ビ	小口径樹
S-2 1	200φ-100A 90Y	540	"				
S-2 2	200φ-100A 90Y	520	"				
S-2 3	200φ-100A 90L	500	"				
S-2 4	200φ-100A ST	500	"		2.0/100	"	"
S-20a	200φ-100A DR	900	200φ	1.8 m	2.0/100	塩ビ	小口径樹
S-21a	200φ-150A DR	940	"	1.8 m	2.0/100	"	"
S-24a	200φ-100A DR	970	"	1.8 m	2.0/100	"	"
S-2 0	200φ-100A DR	900	200φ	1.0 m	2.0/100	塩ビ	小口径樹

※ 樹位置は各平面図による。
 ※ 各系統着手前・施工後に第一排水樹から最終樹までの区間を
 高圧洗浄すること

凡例	凡例
対象建築物を示す。	トイレ改修工事部分を示す。
	受水槽部分を示す。

配置図 S=1:500



撤去衛生器具表

器具名	型式	設置場所																								
		普通教室棟（西トイレ）								合計	普通教室棟（東トイレ）								合計	管理・特別教室棟					合計	
		1階男子トイレ	1階女子トイレ	2階男子トイレ	2階女子トイレ	3階男子トイレ	3階女子トイレ	4階男子トイレ	4階女子トイレ		1階男子トイレ	1階女子トイレ	2階男子トイレ	2階女子トイレ	3階男子トイレ	3階女子トイレ	4階男子トイレ	4階女子トイレ		1階職員男子トイレ	1階職員女子トイレ	2階男子トイレ	2階女子トイレ	3階男子トイレ		3階女子トイレ
和風大便器	フラッシュバルブ	2	5	2	5	2	5	2	5	28組	2	5	2	5	2	5	2	5	28組	2	2	2	3	1	3	13組
洋風大便器	フラッシュバルブ	1	1	1	1	1	1	1	1	8組										1			1		2組	
紙巻器		3	6	3	6	3	6	3	6	36個	2	5	2	5	2	5	2	5	28個	2	3	2	3	2	3	15個
ストール小便器	フラッシュバルブ	6		6		6		6		24組	3		3		3		3		12組	4		4		4		12組
洗面器	立水栓×1	3	3	3	3	3	3	3	3	24組	3	3	3	3	3	3	3	3	24組	2	3	3	3	3	3	17組
掃除用流し		1	1	1	1	1	1	1	1	8組	1	1	1	1	1	1	1	1	8組	1	1	1	1	1	1	6組
化粧鏡	350×450	3	3	3	3	3	3	3	3	24枚	3	3	3	3	3	3	3	3	24枚	2	3	3	3	3	3	17枚

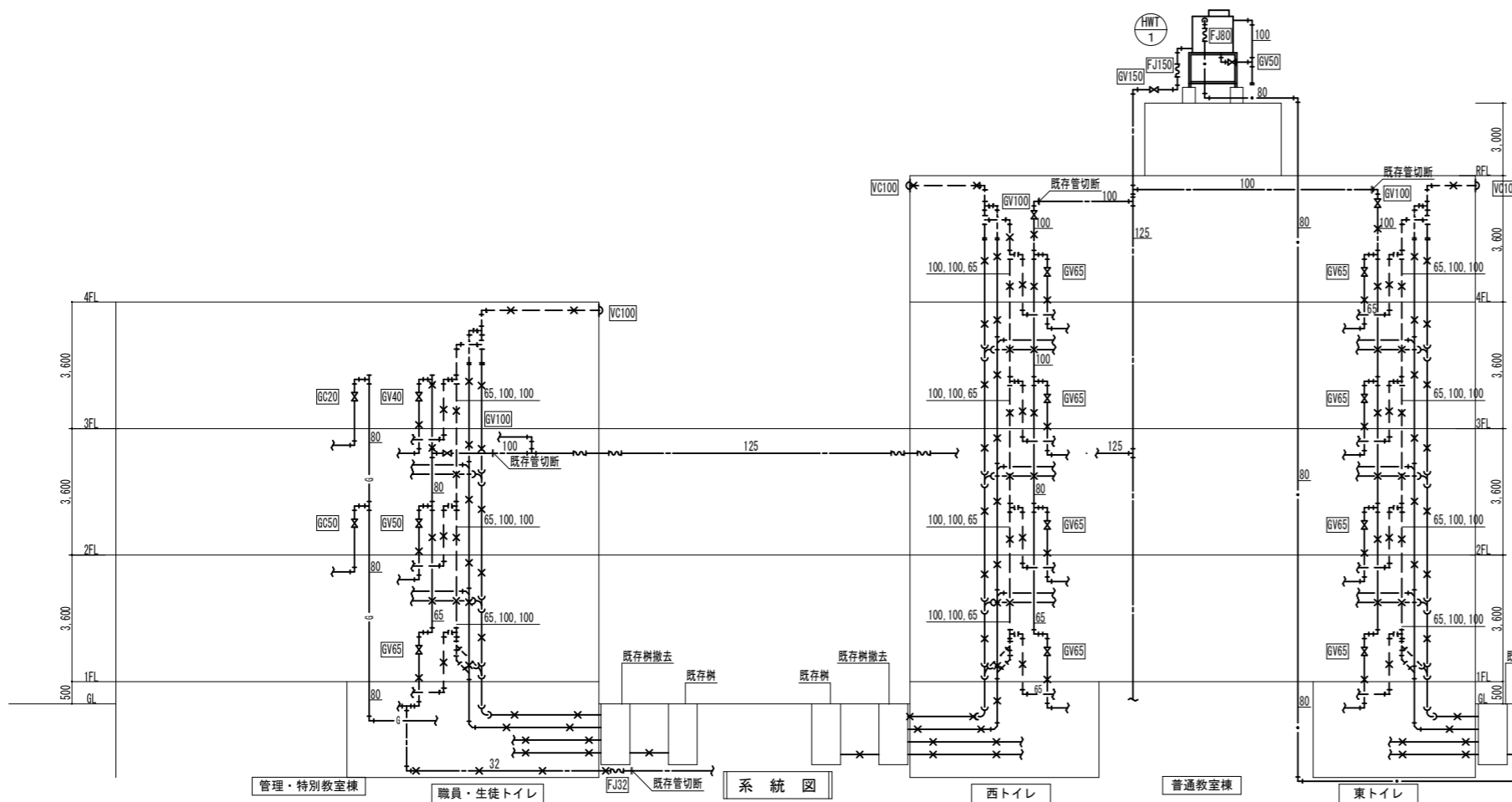
※注記
1. 和風便器撤去後の開口部閉塞は建築工事とする。

撤去機器表

機器名	仕様	設置場所	台数	備考
WT-1 受水槽	FRP製パネル組み立て形 6.0×5.0×2.5H 75.0M3	屋外	1基	基礎は既存のまま
	平架台、付属品共			
WP-1 排水ポンプ	横型形多段ポンプ 65A×3.7KW 付属品共	屋外ポンプ室	2台	既存再利用
壁換気扇	250φ SUS製ウエザーカバー共	普通教室棟トイレ：1～4階	8台	
		管理特別教室棟トイレ：1～3階	6台	

※注記
1. 水槽の電極は電気工事とする。
2. 各ポンプの電源ケーブル取り外しは電気工事とする。

改修前

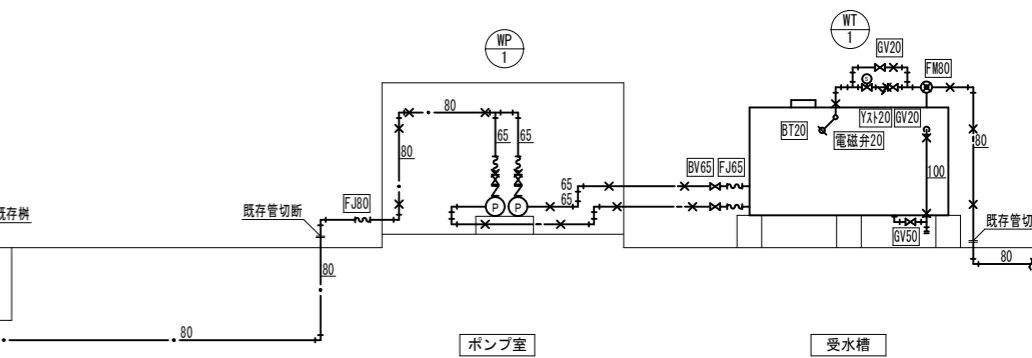


記号	名称	施工区分	仕様
—X—X—	給水管	機械室・屋外	水道用塩ビライニング鋼管
—X—X—	揚水管	ポンプ室	水道用塩ビライニング鋼管
—X—X—	汚水管	PS内	排水用鍍鉄管
—X—X—	排水管	PS内	配管用炭素鋼鋼管
—X—X—	通気管	PS内	配管用炭素鋼鋼管
—X—X—	ガス管	PS内	配管用炭素鋼鋼管

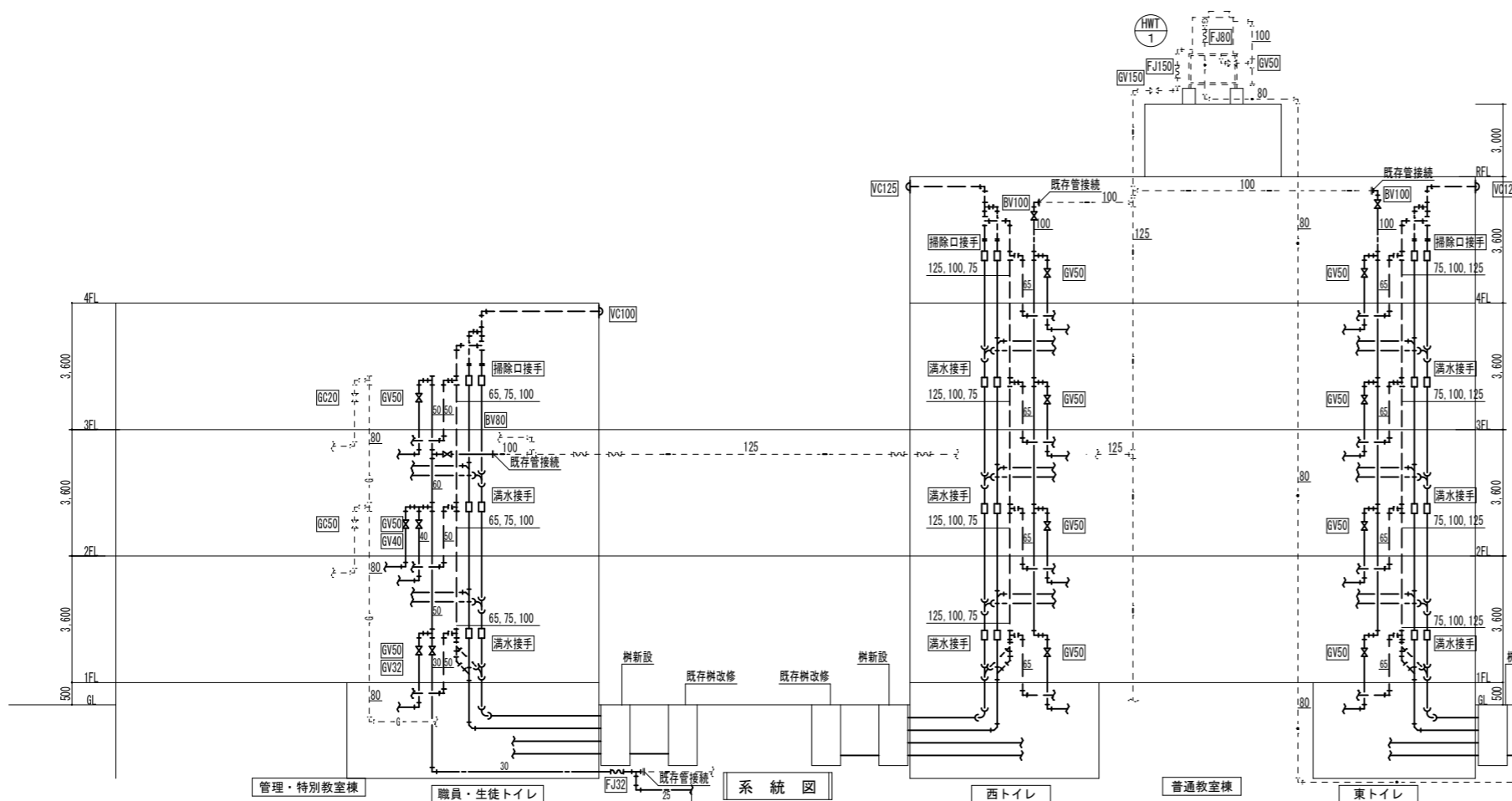
記号	名称	施工区分	仕様
—X—X—	給水管	天井・PS内	水道用塩ビライニング鋼管
—X—X—	汚水管	天井・PS内	排水用鍍鉄管
—X—X—	排水管	天井・PS内	配管用炭素鋼鋼管
—X—X—	通気管	天井・PS内	配管用炭素鋼鋼管
—X—X—	ガス管	天井・PS内	配管用炭素鋼鋼管

※撤去工事要領

- FRPパネル組み立て形受水槽を撤去する。
- 同上工事に伴い配管及び配管付属品を、保温共撤去する。
- 揚水ポンプ及びポンプ回り配管を撤去する。
- コンクリート基礎は再使用する。
- PS内配管を保温共撤去する。
- 高架水槽及び水槽回り配管は既存のままとする。



改修後

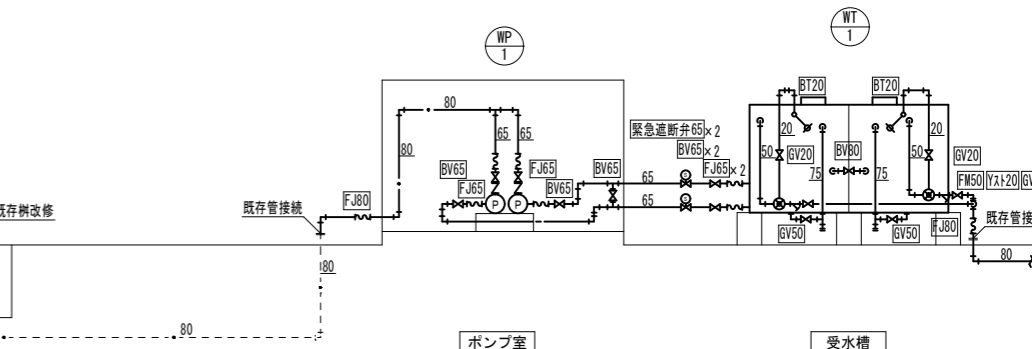


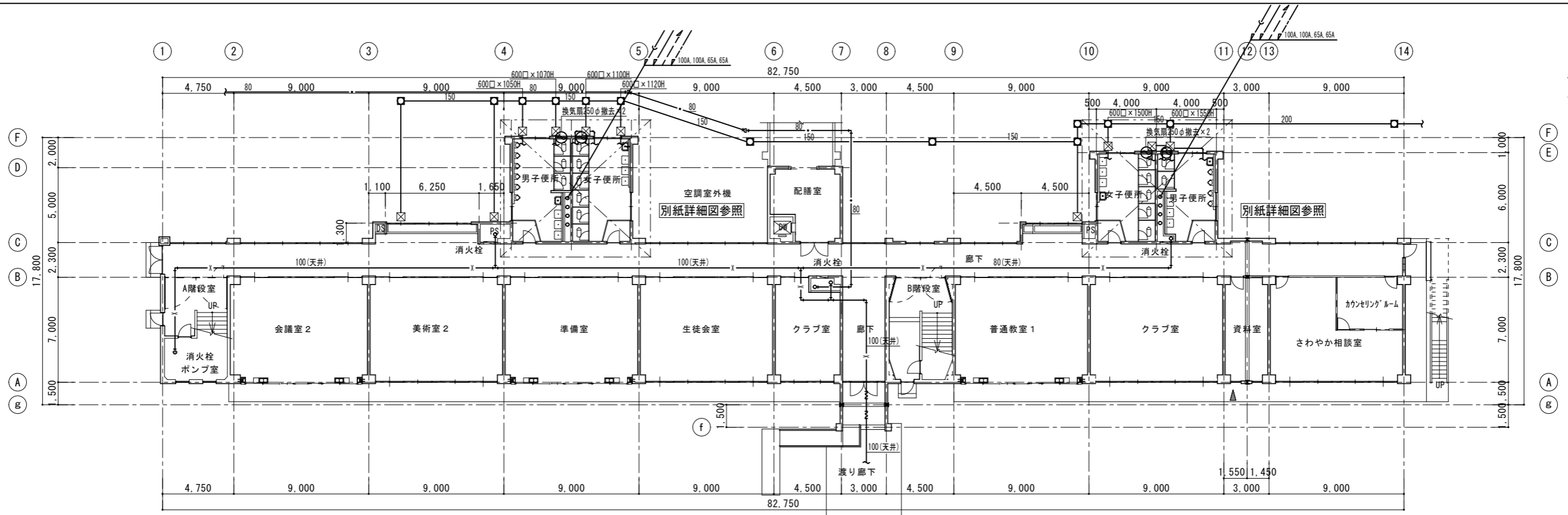
記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管	機械室・屋外	耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVP)
—	汚水管	床上	硬質塩化ビニル管 (VP)
—	排水管	床上	硬質塩化ビニル管 (VP)
—	通気管	床上	硬質塩化ビニル管 (VP)
—	既存管		

記号	名称	施工区分	仕様
—	給水管	天井・PS内	耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVP)
—	汚水管	床上・PS内	耐火性ポリ塩化ビニル管 (VP)
—	排水管	床上・PS内	耐火性ポリ塩化ビニル管 (VP)
—	通気管	床上・PS内	耐火性ポリ塩化ビニル管 (VP)
—	既存管		

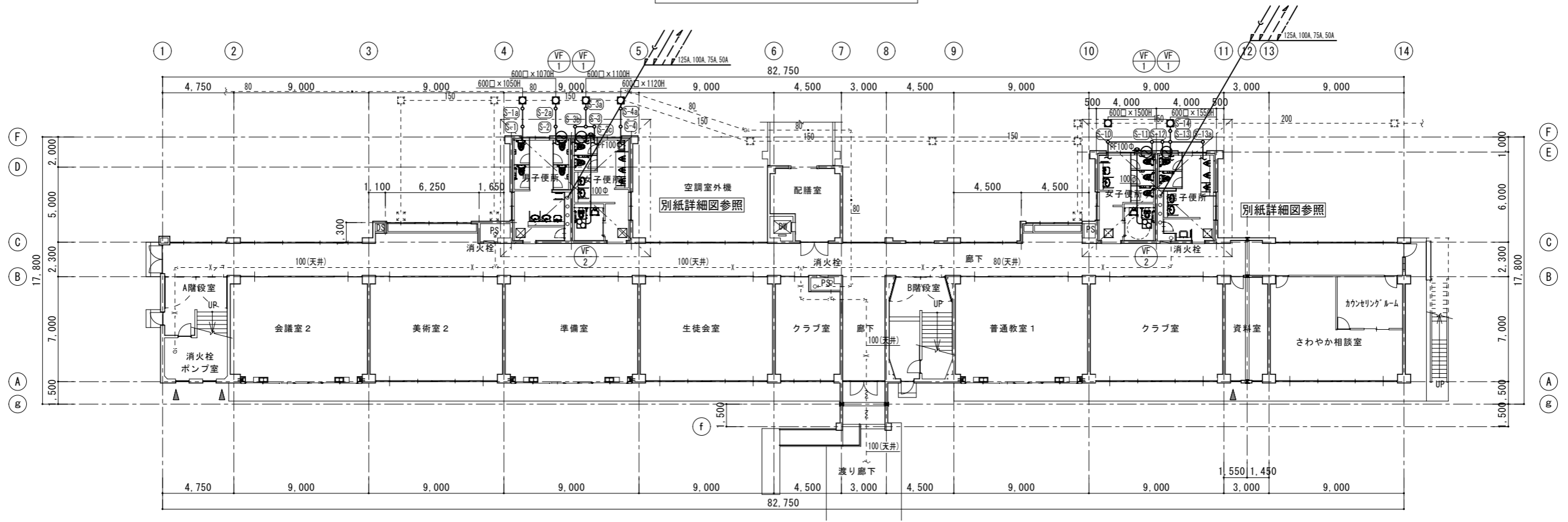
※改修工事要領

- 鋼板製一体形受水槽を新設する。
- 同上工事に伴い配管及び配管付属品を、保温共新設する。
- 緊急弁遮断装置を新設する。
- 揚水ポンプ及びポンプ回り配管を新設する。
- PS内配管を新設する。
- 高架水槽及び水槽回り配管は既存のままとする。

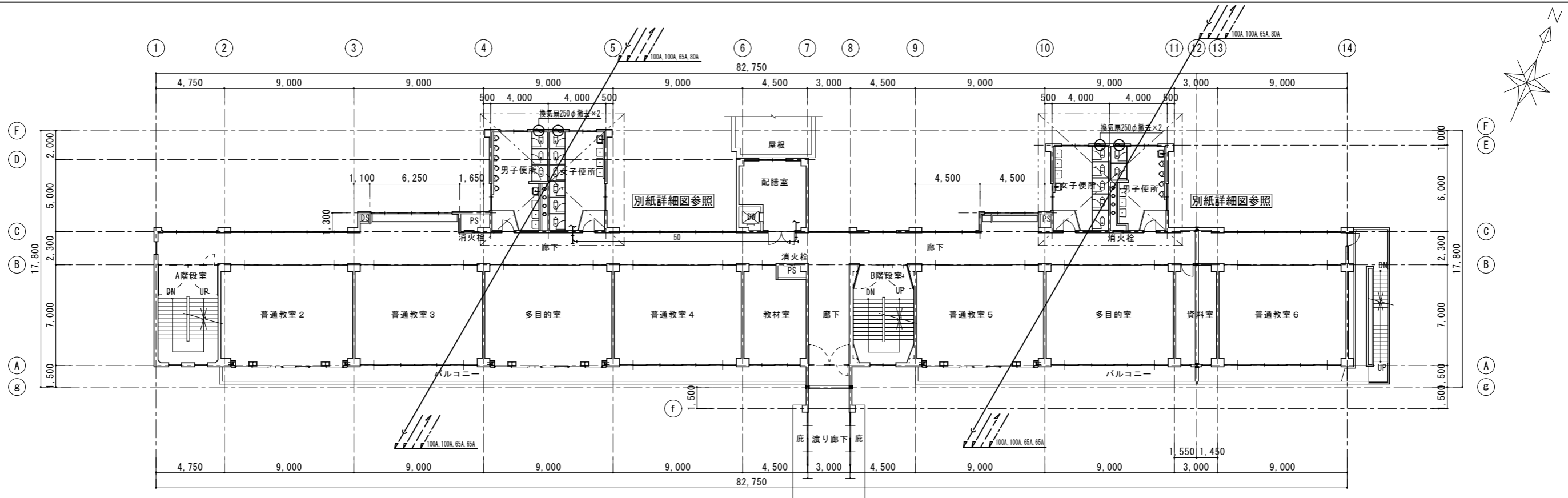




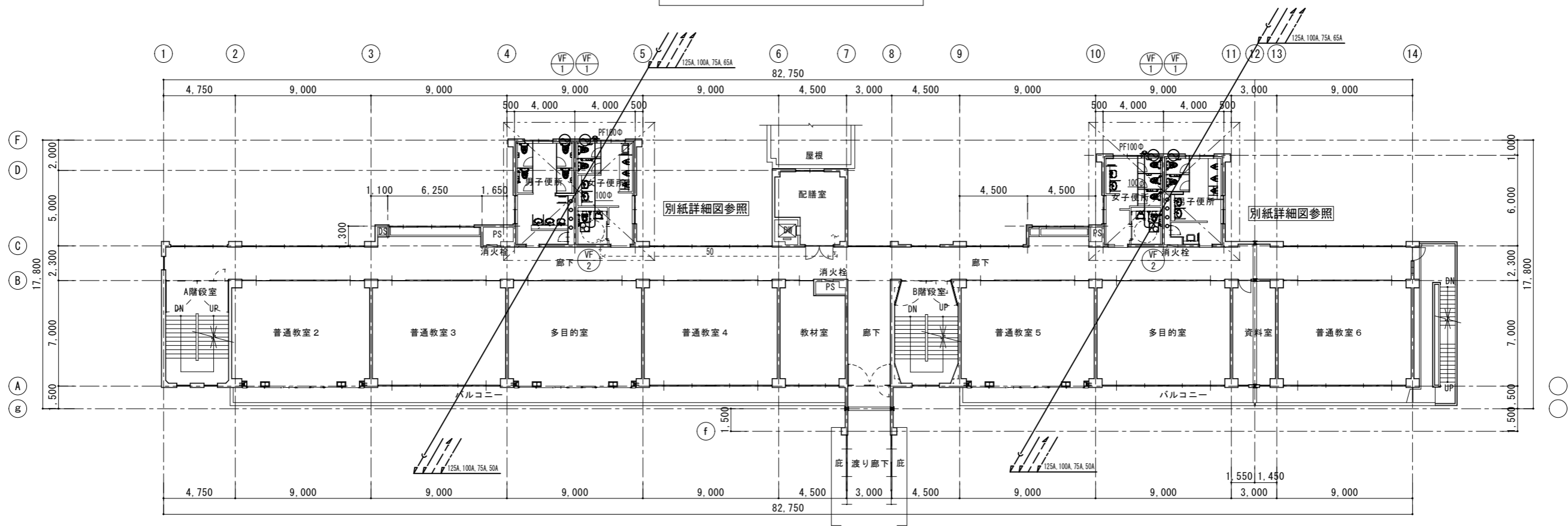
改修前 普通教室棟 1階平面図 S=1:150



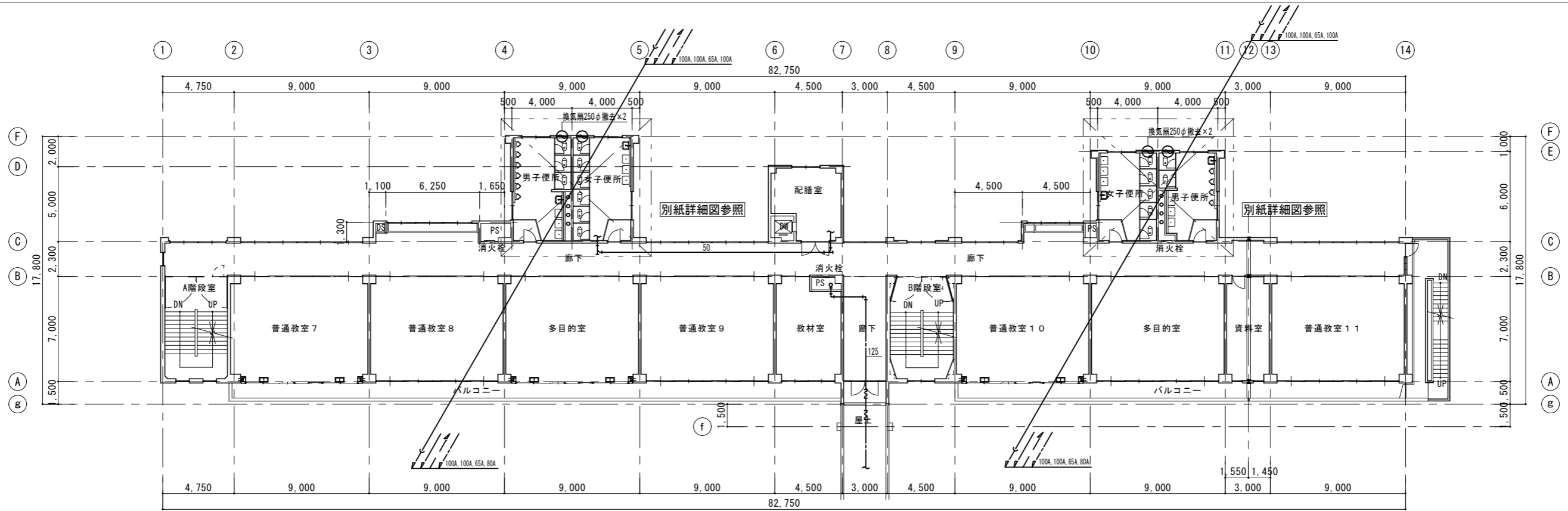
改修後 普通教室棟 1階平面図 S=1:150



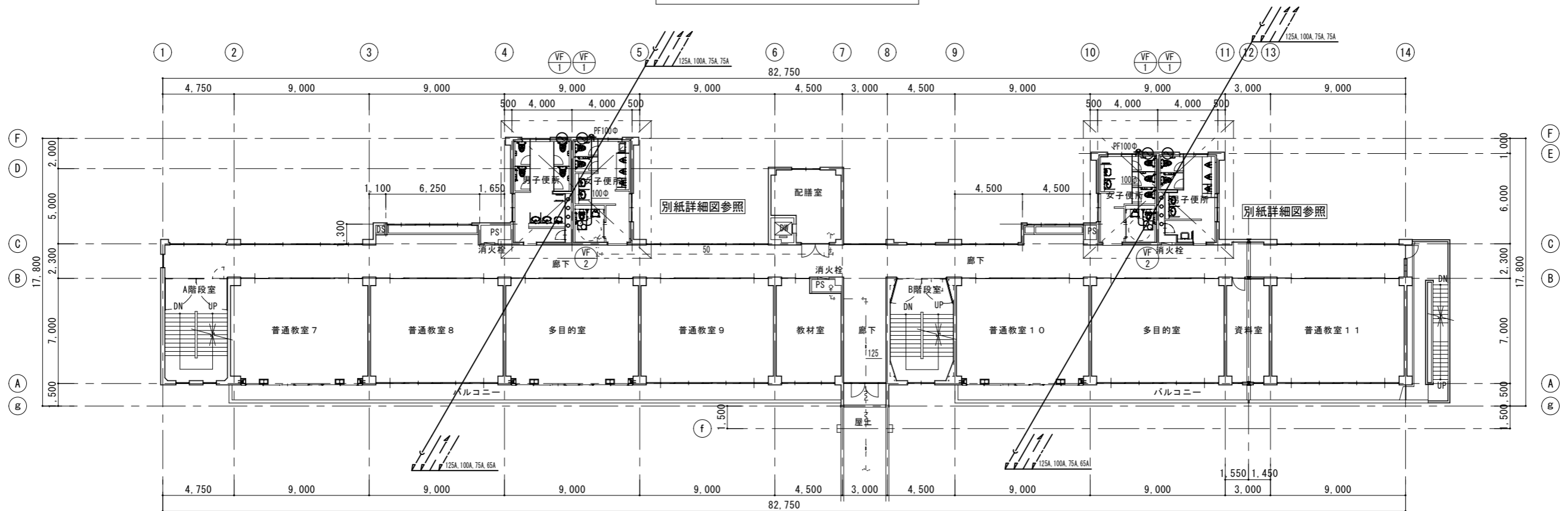
改修前 普通教室棟 2階平面図 S=1:150



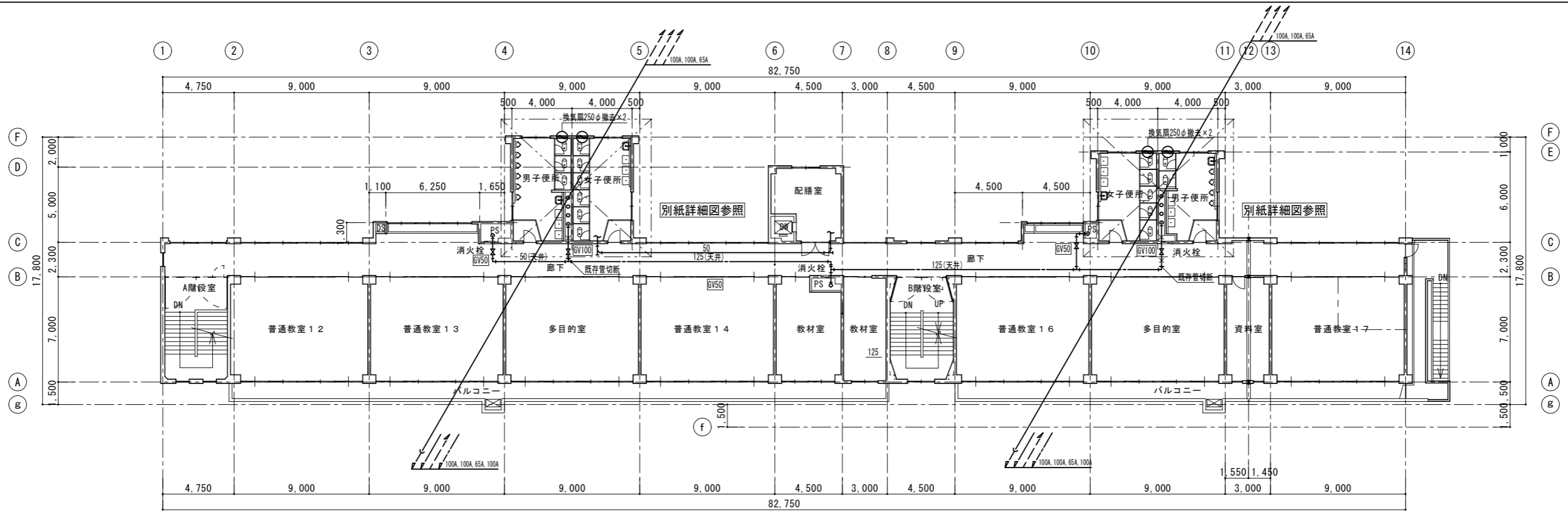
改修後 普通教室棟 2階平面図 S=1:150



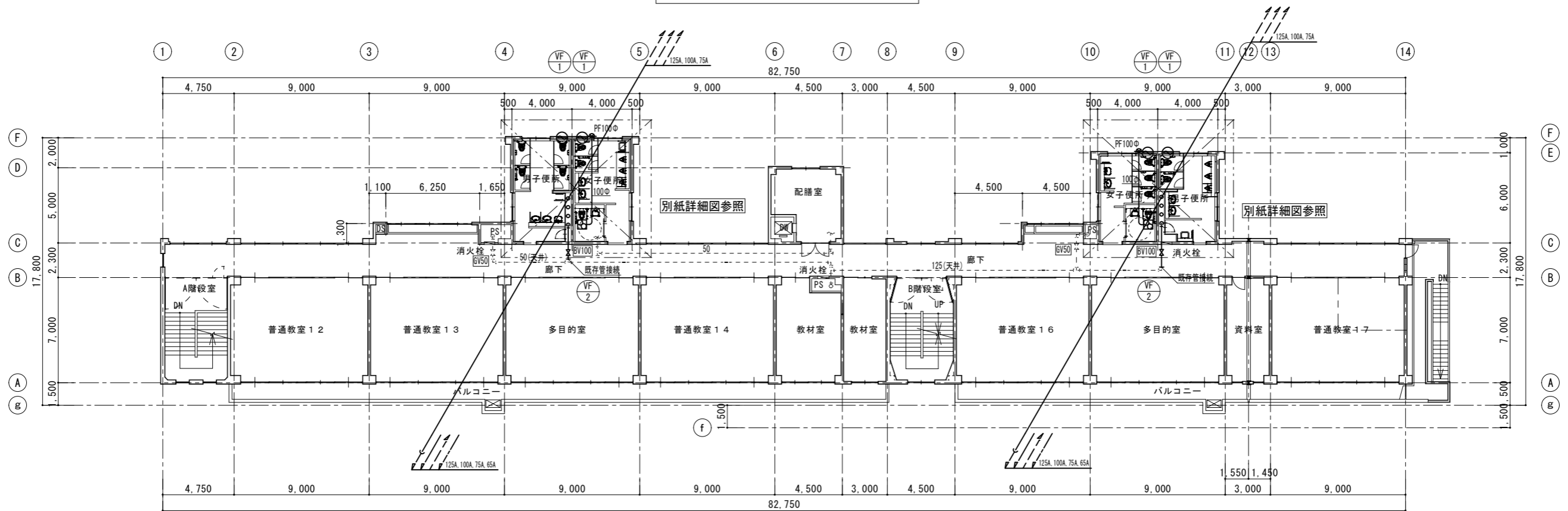
改修前 普通教室棟 3階平面図 S=1:150



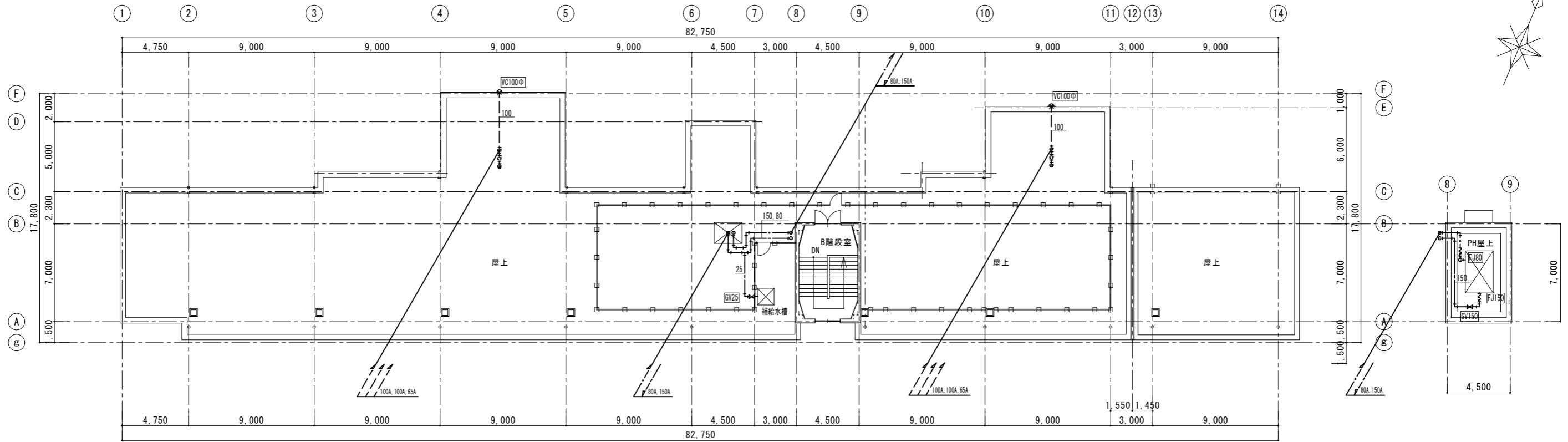
改修後 普通教室棟 3階平面図 S=1:150



改修前 普通教室棟 4階平面図 S=1:150

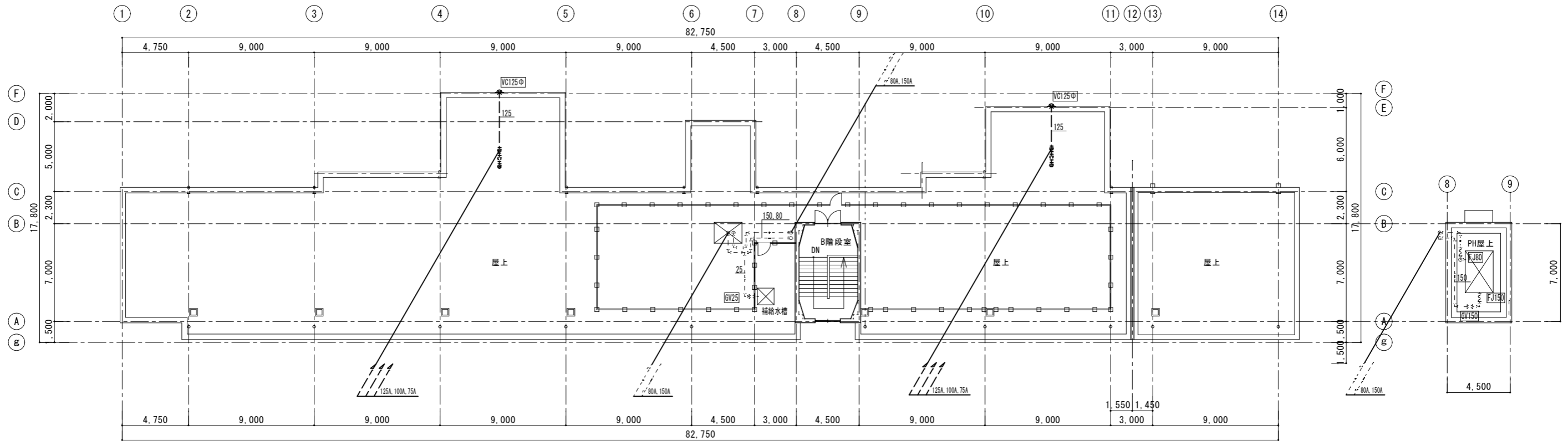


改修後 普通教室棟 4階平面図 S=1:150



改修前 普通教室棟 R階平面図 S=1:150

改修前 P H R階平面図 S=1:150



改修後 普通教室棟 R階平面図 S=1:150

改修後 P H R階平面図 S=1:150

※撤去工事要領

1. 衛生器具を撤去する。
2. 和風便器撤去後の開口部補修は建築工事とする。
3. P S 内及びピット内の給排水管（保温共）を撤去する。
4. 屋外排水管及び柵を撤去する。
5. 換気扇及びびろが-が-を撤去する。

撤去管凡例

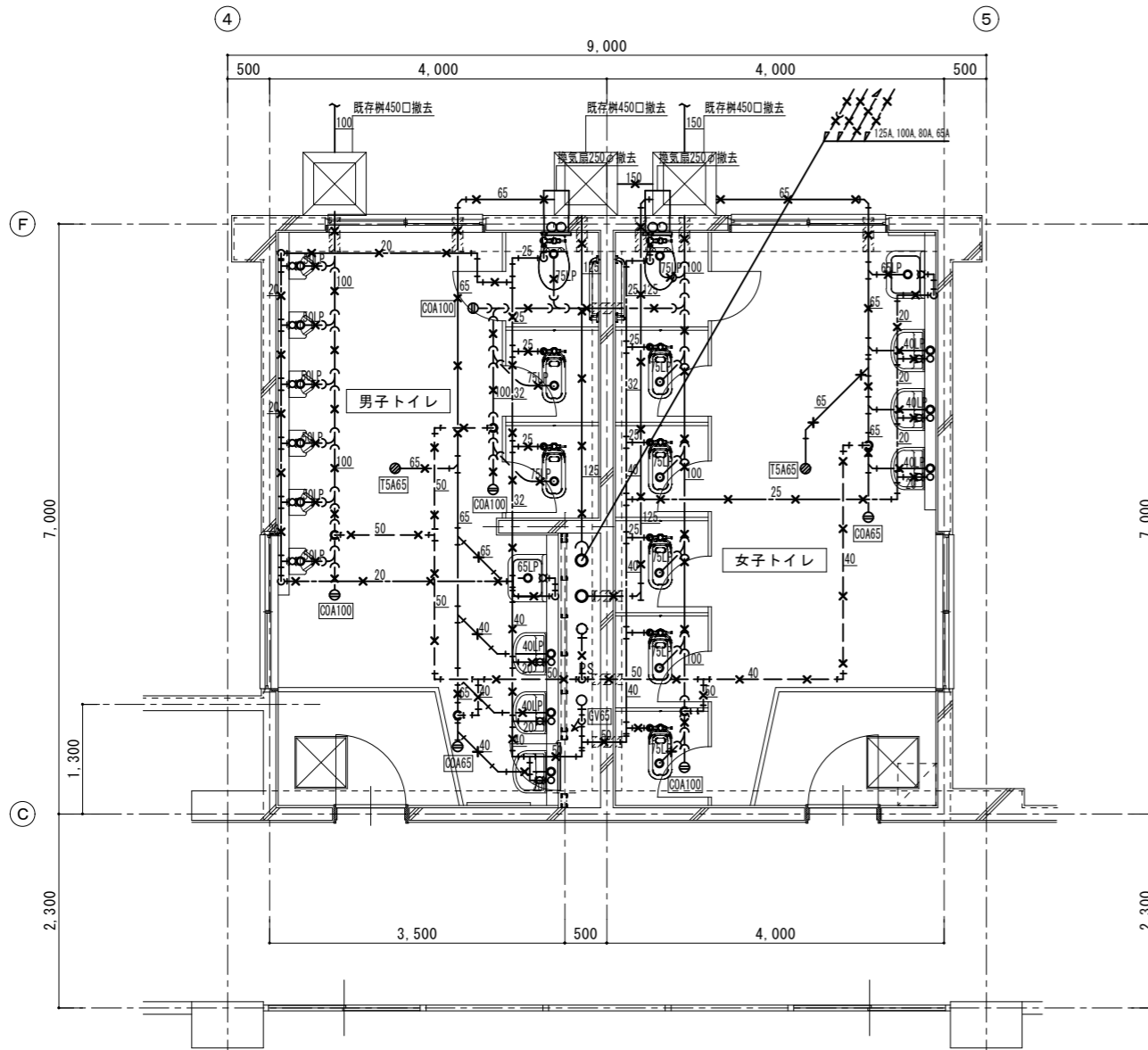
記号	名称	仕様
— × — × —	給水管	給水用塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)
— × — × —	汚水管	排水用鋼鉄管 (メカニカル)
— × — × —	排水管	配管用鋼管 (白)
— × — × — LP	排水管	排水用鉛管 (HASS)
— × — × —	通気管	配管用鋼管 (白)

※改修工事要領

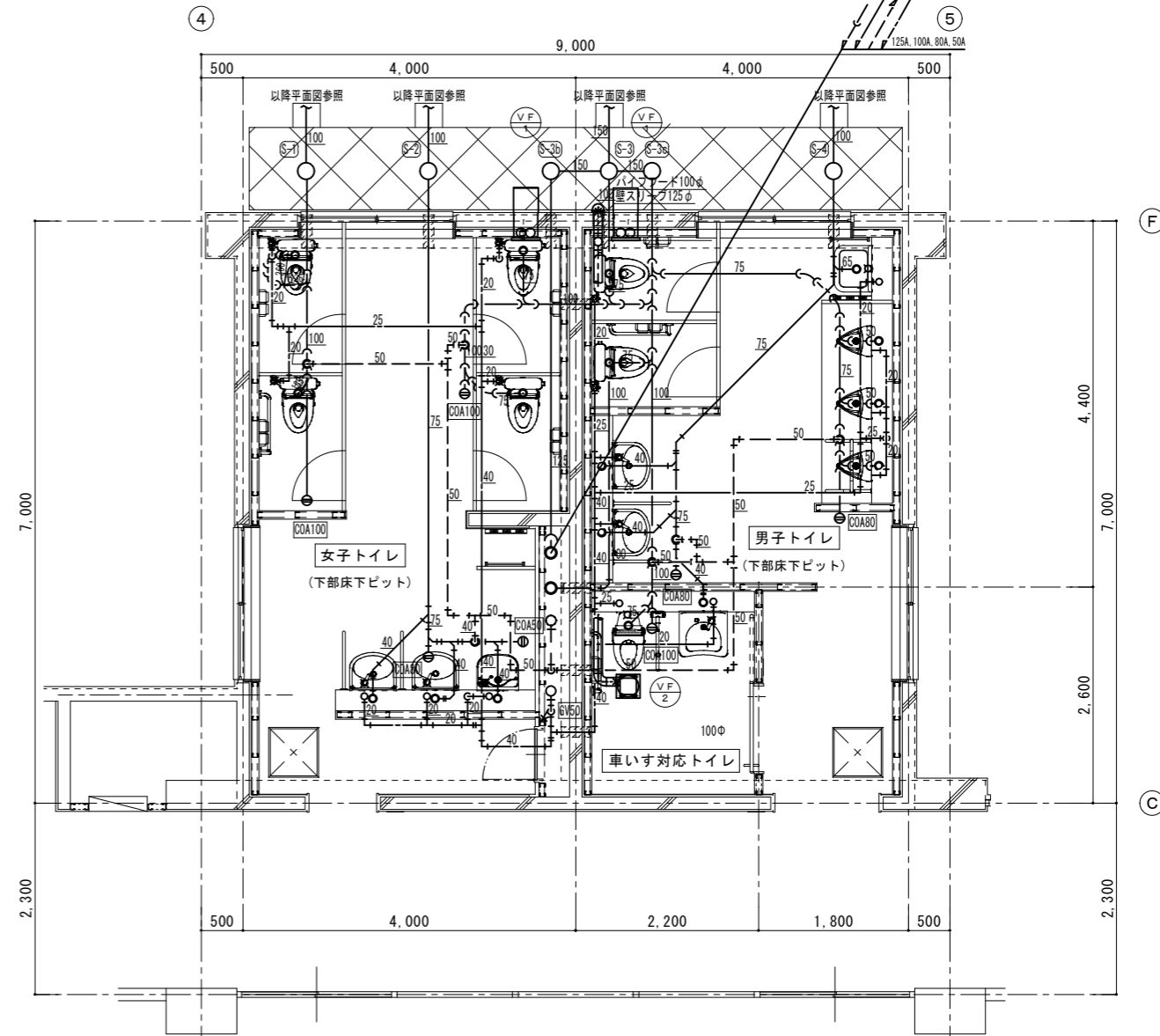
1. 衛生器具及び手すりを新設する。
2. 換気扇・天井扇及びダクトを新設する。
3. 給排水管及び、保温を新設する。
4. 地中梁貫通排水管は、内外止水コーキングを施し入水のないようにする。
5. 屋外排水管及び柵を新設する。
6. 土工事は本工事とする。

新設管凡例

記号	名称	仕様
—	給水管	給水用耐衝撃性塩ビ管 (HIVP)
— < —	汚水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
—	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
—	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
—	換気ダクト	スパイラルダクト
—	既存管	
—	土工事	



改修前 普通教室棟 (西側) 1階トイレ平面詳細図 S=1:40



改修後 普通教室棟 (西側) 1階トイレ平面詳細図 S=1:40

※撤去工事要領

1. 衛生器具を撤去する。
2. 和風便器撤去後の開口部補修は建築工事とする。
3. PS内及び天井内の給排水管（保温共）を撤去する。
4. 換気扇及びびりガ-カ-を撤去する。
5. 消火栓は配管共既存のままとする。

撤去管凡例

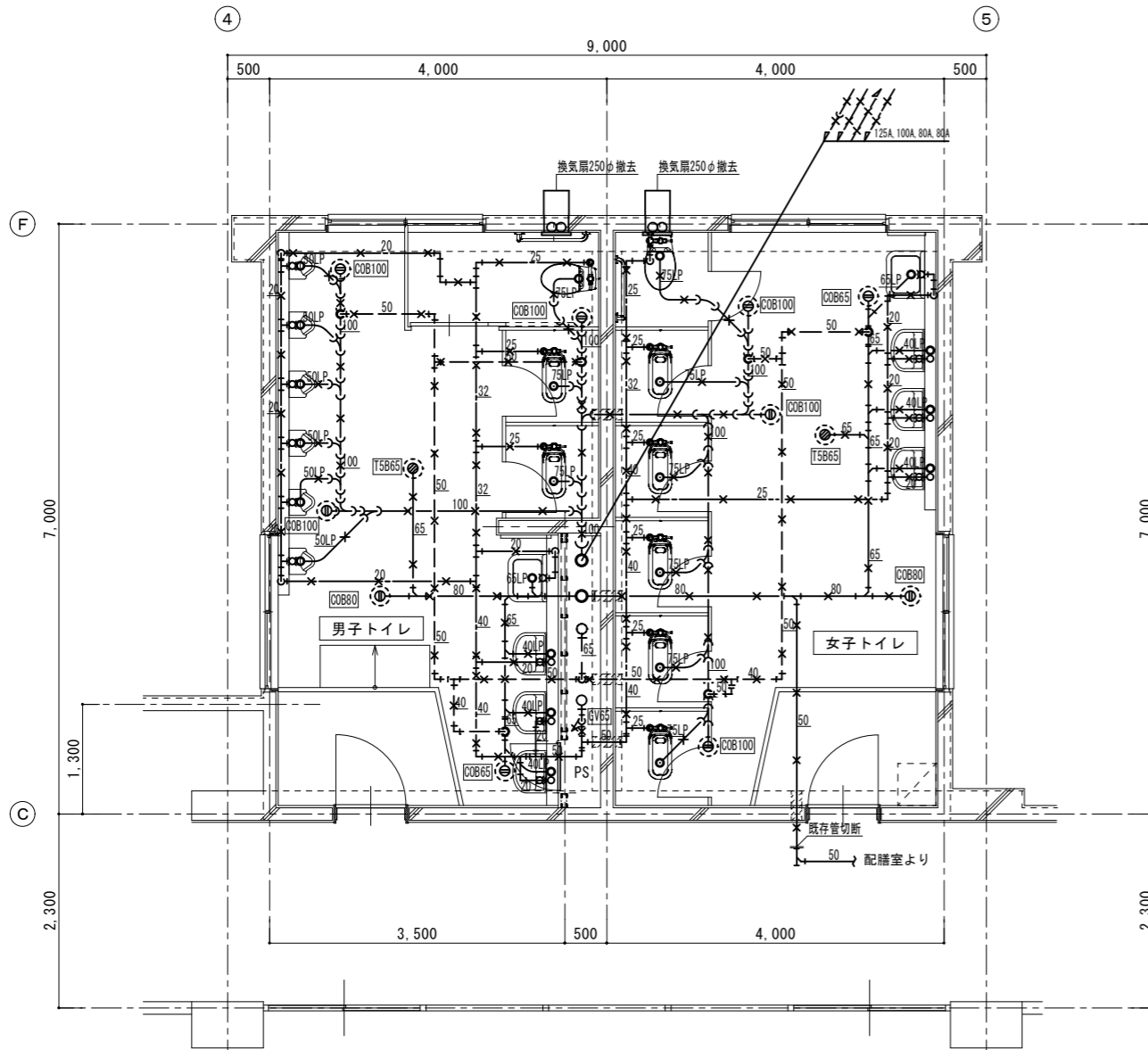
記号	名称	仕様
— — — — —	給水管	給水用塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)
— ■ — — —	汚水管	排水用鉄管 (メカニカル)
— × — — —	排水管	配管用鋼管 (白)
— × — — — LP	排水管	排水用鉛管 (HASS)
— × — — —	通気管	配管用鋼管 (白)

※改修工事要領

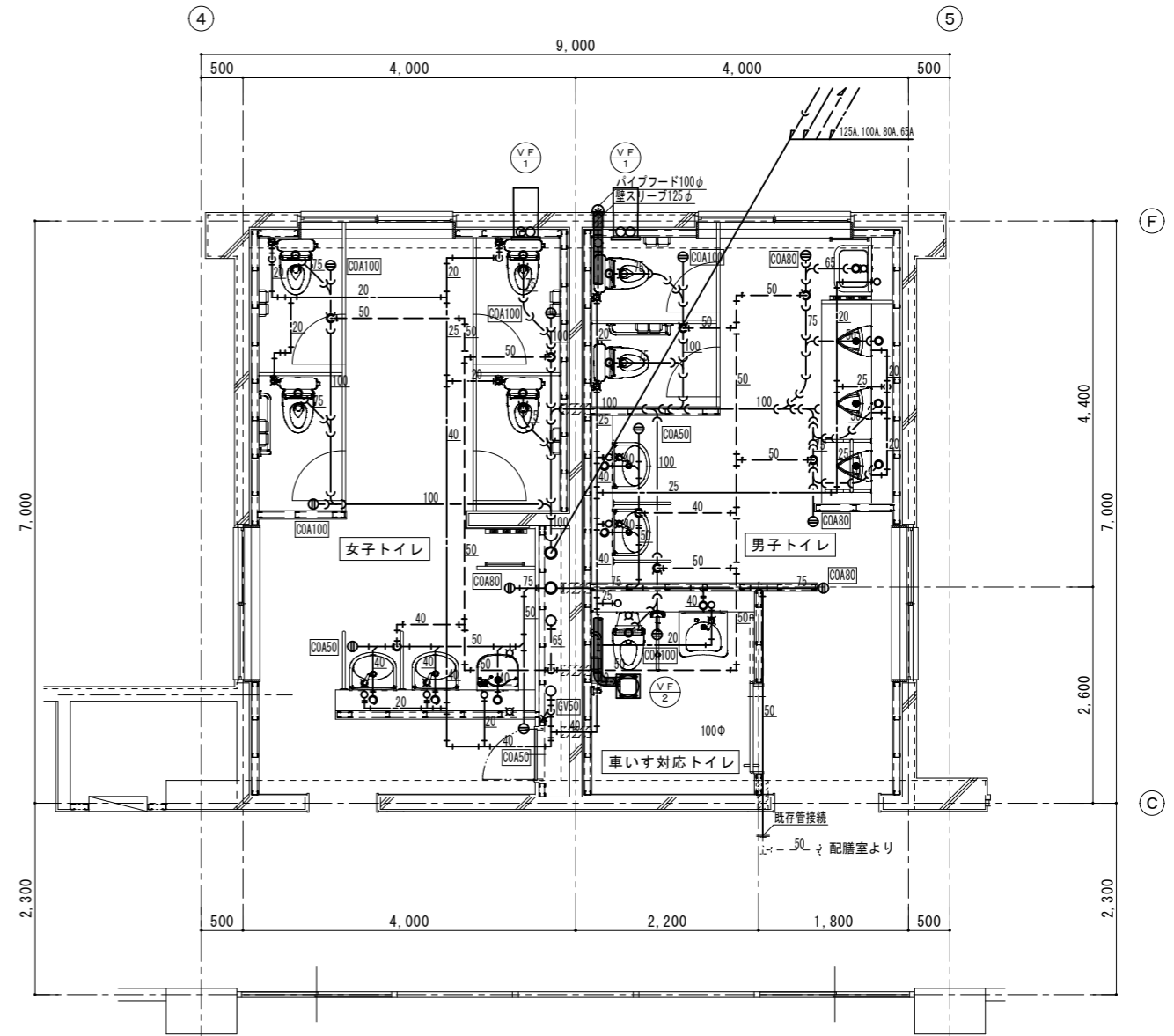
1. 衛生器具及び手すりを新設する。
2. 換気扇・天井扇及びダクトを新設する。
3. 給排水管及び、保温を新設する。
4. 梁及び壁貫のスリーブは既存を利用する。

新設管凡例

記号	名称	仕様
— — — — —	給水管	給水用耐衝撃性塩ビ管 (HVP)
— ■ — — —	汚水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
— × — — —	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
— — — — —	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
— ■ — — —	換気ダクト	スパイラルダクト
— · — — —	既存管	



改修前 普通教室棟 (西側) 2階トイレ平面詳細図 S=1:40



改修後 普通教室棟 (西側) 2階トイレ平面詳細図 S=1:40

※撤去工事要領

1. 衛生器具を撤去する。
2. 和風便器撤去後の開口部補修は建築工事とする。
3. P S内及び天井内の給排水管（保温共）を撤去する。
4. 換気扇及びびりガ-カ-を撤去する。
5. 消火栓は配管共既存のままとする。

撤去管凡例

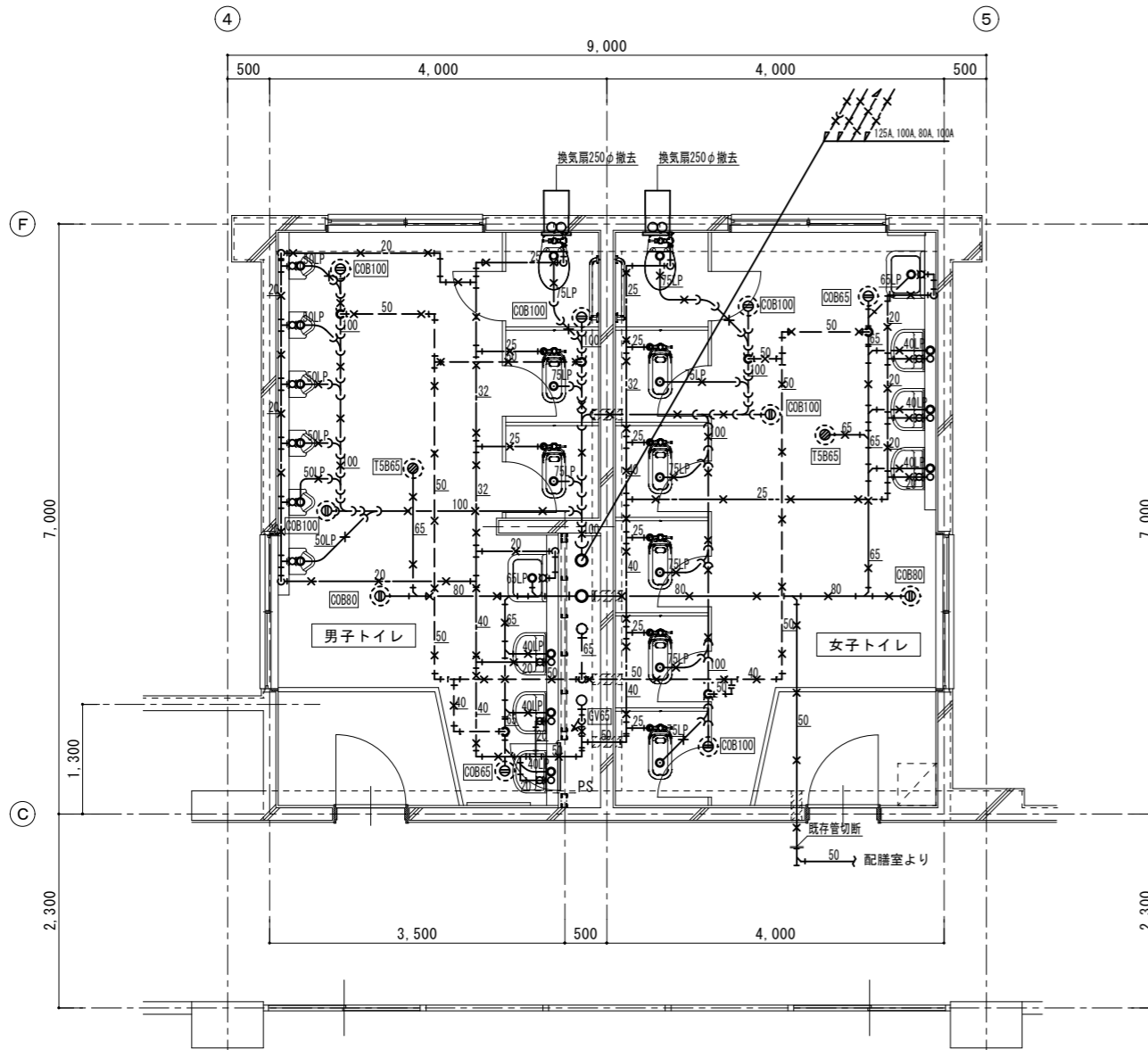
記号	名称	仕様
— — — — —	給水管	給水用塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)
— ■ — — —	汚水管	排水用鉄鉄管 (メカニカル)
— × — — —	排水管	配管用鋼管 (白)
— × — — — LP	排水管	排水用鉛管 (HASS)
— × — — —	通気管	配管用鋼管 (白)

※改修工事要領

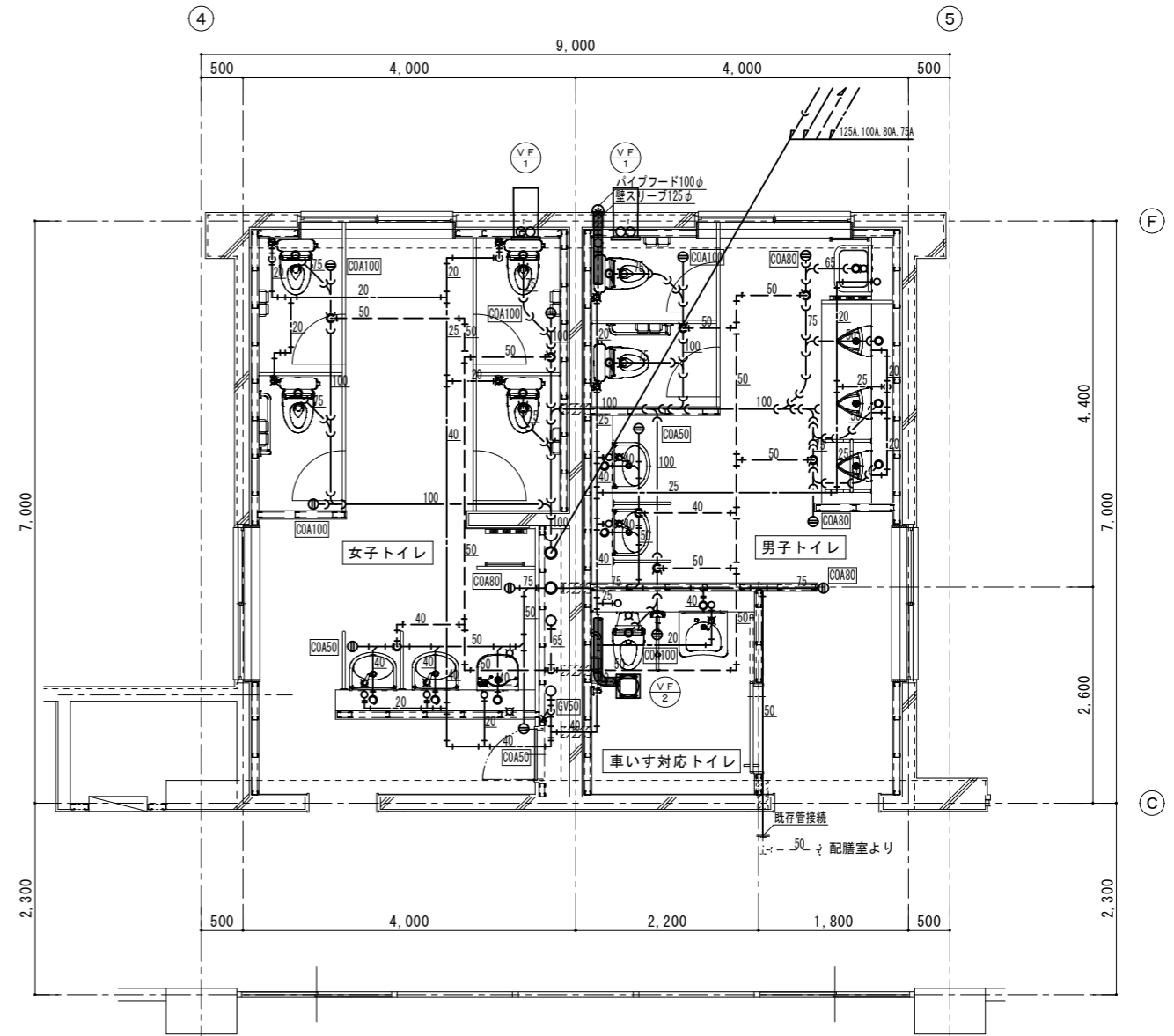
1. 衛生器具及び手すりを新設する。
2. 換気扇・天井扇及びダクトを新設する。
3. 給排水管及び、保温を新設する。
4. 梁及び壁貫のスリーブは既存を利用する。

新設管凡例

記号	名称	仕様
— — — — —	給水管	給水用耐衝撃性塩ビ管 (HVP)
— ■ — — —	汚水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
— — — — —	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
— — — — —	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
— — — — —	換気ダクト	スパイラルダクト
— — — — —	既存管	



改修前 普通教室棟 (西側) 3階トイレ平面詳細図 S=1:40



改修後 普通教室棟 (西側) 3階トイレ平面詳細図 S=1:40

※撤去工事要領

1. 衛生器具を撤去する。
2. 和風便器撤去後の開口部補修は建築工事とする。
3. P S内及び天井内の給排水管（保温共）を撤去する。
4. 換気扇及びびりガ-カ-を撤去する。
5. 消火栓は配管共既存のままとする。

撤去管凡例

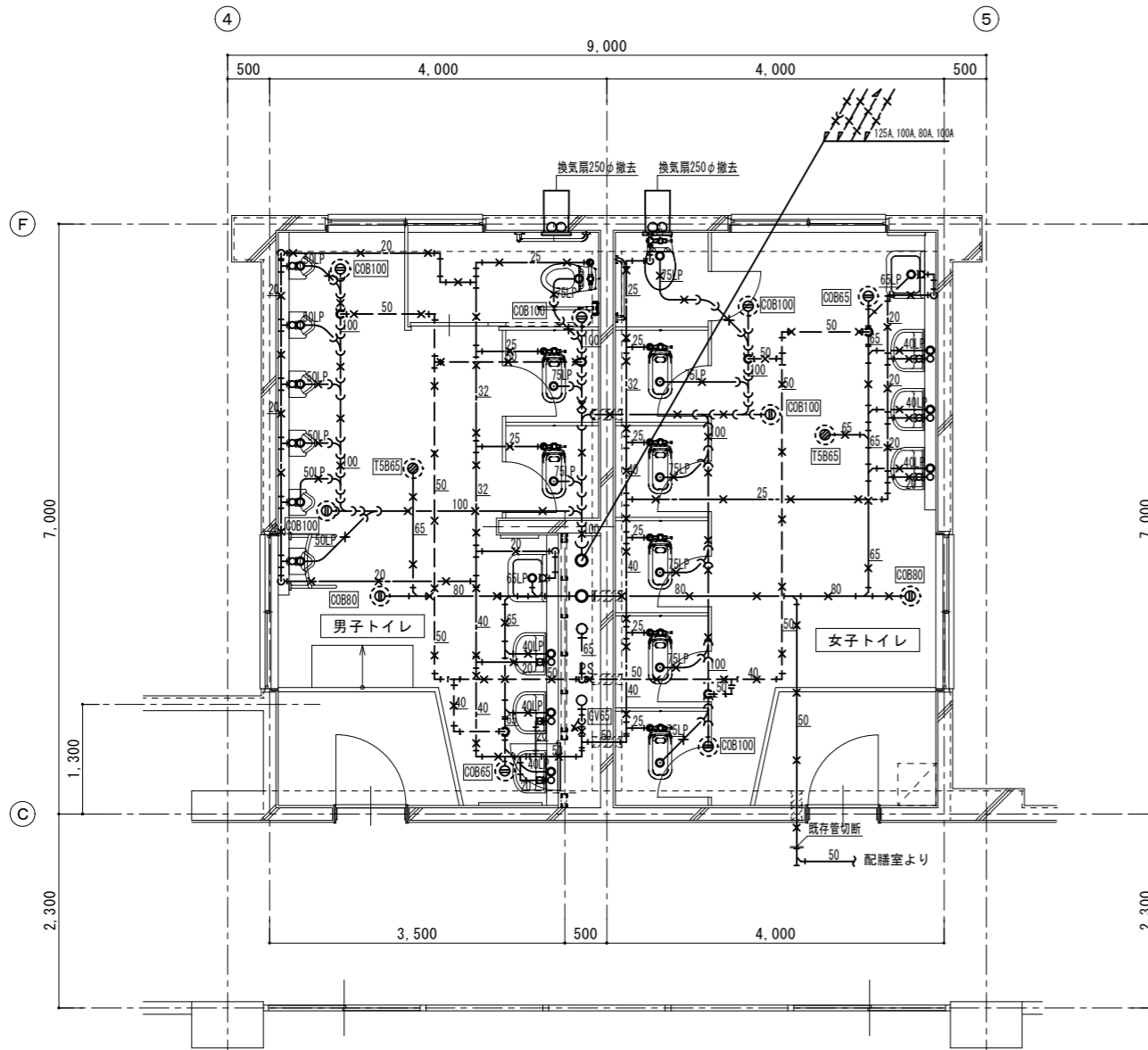
記号	名称	仕様
— — — — —	給水管	給水用塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)
— ■ — — —	汚水管	排水用鉄鉄管 (メカニカル)
— × — — —	排水管	配管用鋼管 (白)
— × — — — LP	排水管	排水用鉛管 (HASS)
— × — — —	通気管	配管用鋼管 (白)

※改修工事要領

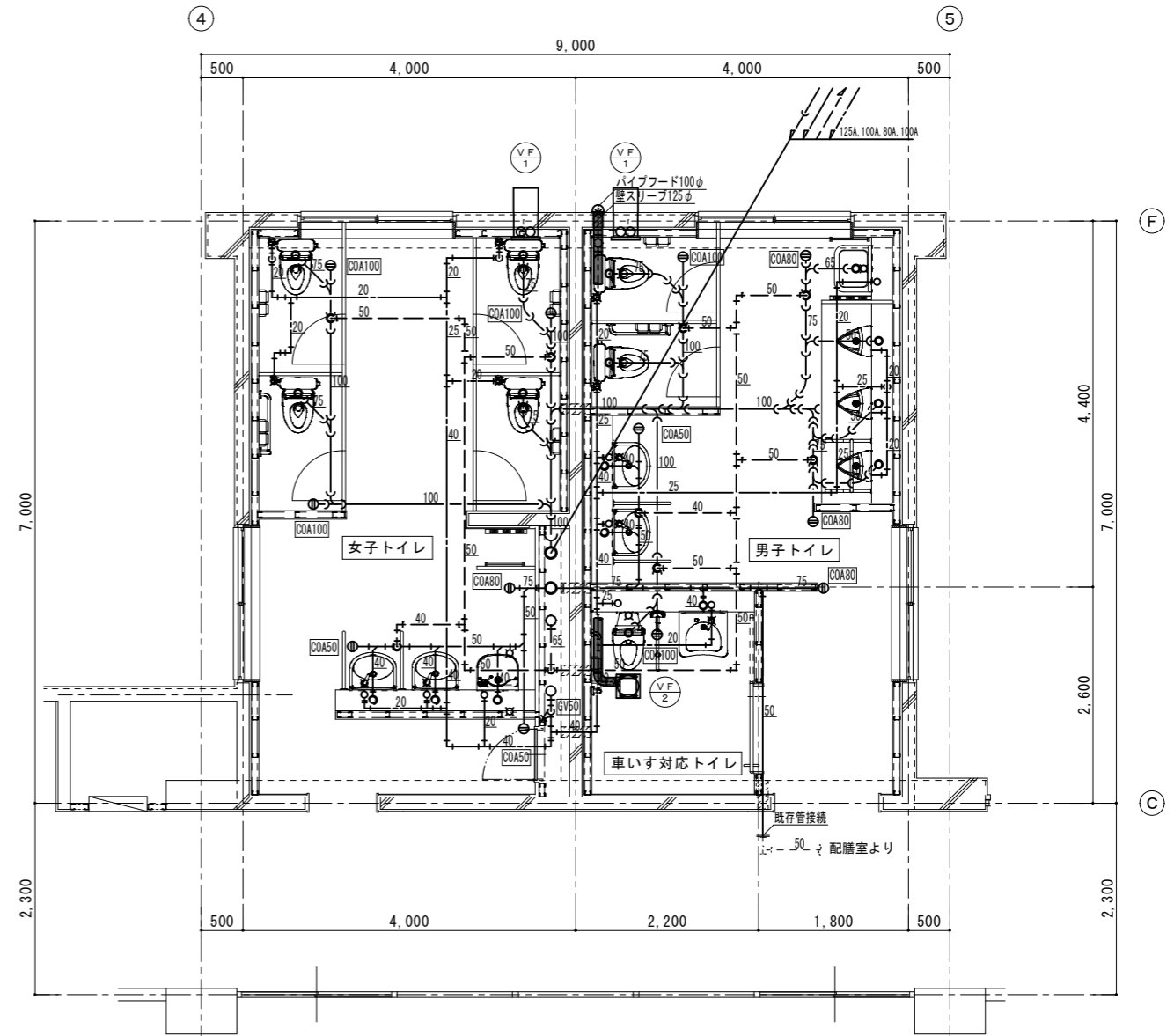
1. 衛生器具及び手すりを新設する。
2. 換気扇・天井扇及びダクトを新設する。
3. 給排水管及び、保温を新設する。
4. 梁及び壁貫のスリーブは既存を利用する。

新設管凡例

記号	名称	仕様
— — — — —	給水管	給水用耐衝撃性塩ビ管 (HVP)
— ■ — — —	汚水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
— — — — —	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
— — — — —	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
— — — — —	換気ダクト	スパイラルダクト
— — — — —	既存管	



改修前 普通教室棟 (西側) 4階トイレ平面詳細図 S=1:40



改修後 普通教室棟 (西側) 4階トイレ平面詳細図 S=1:40

※撤去工事要領

1. 衛生器具を撤去する。
2. 和風便器撤去後の開口部補修は建築工事とする。
3. P S内及びピット内の給排水管（保温共）を撤去する。
4. 屋外排水管及び樹を撤去する。
5. 換気扇及びびげーかーを撤去する。
6. 消火栓は配管共既存のままとする。

撤去管凡例

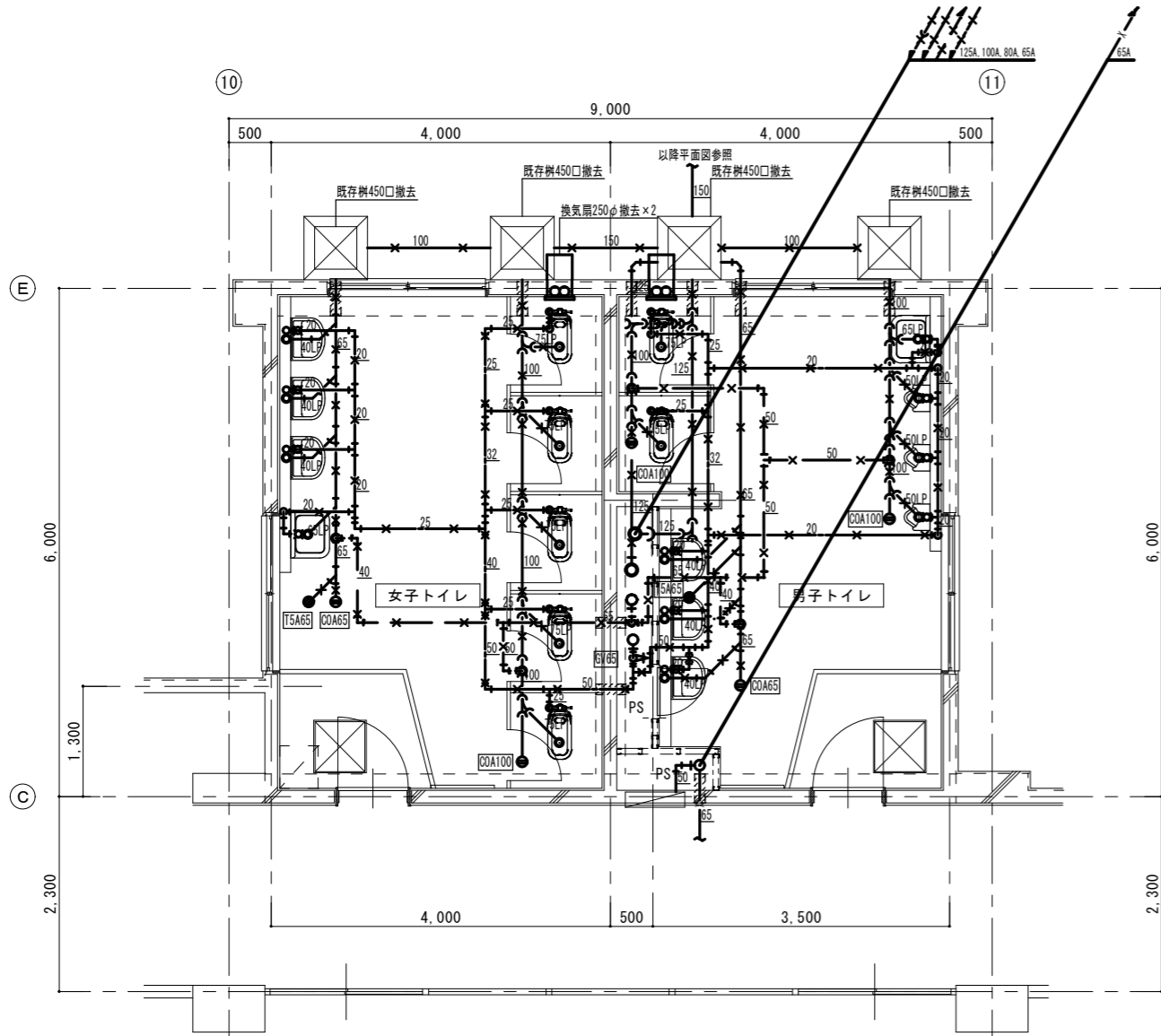
記号	名称	仕様
—x—	給水管	給水用塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)
—x—x—	汚水管	排水用鋳鉄管 (メカニカル)
—x—x—	排水管	配管用鋼管 (白)
—x—LP—	排水管	排水用鉛管 (HASS)
—x—x—	通気管	配管用鋼管 (白)

※改修工事要領

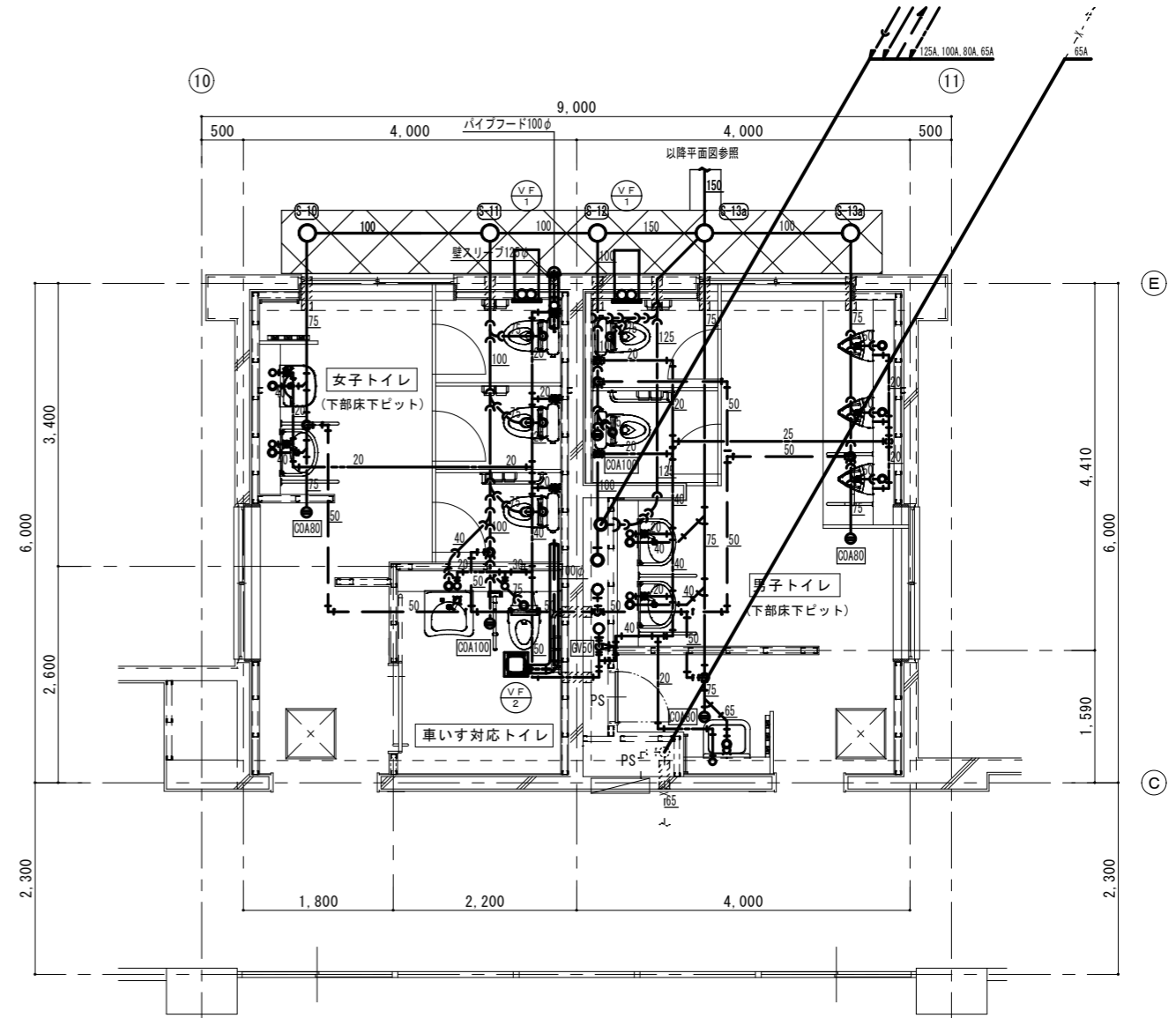
1. 衛生器具及び手すりを新設する。
2. 換気扇及びびげーかーを新設する。
3. 給排水管及び、保温を新設する。
4. 地中梁貫通排水配管は、内外止水コーキングを施し入水のないようにする。
5. 屋外排水管及び樹を新設する。
6. 土工事は本工事とする。

新設管凡例

記号	名称	仕様
—	給水管	給水用耐衝撃性塩ビ管 (HIVP)
—C—	汚水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
—	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
—	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
—	換気ダクト	スパイラルダクト
- - -	既存管	
XXXX	土工事	



改修前 普通教室棟 (東側) 1階トイレ平面詳細図 S=1:40



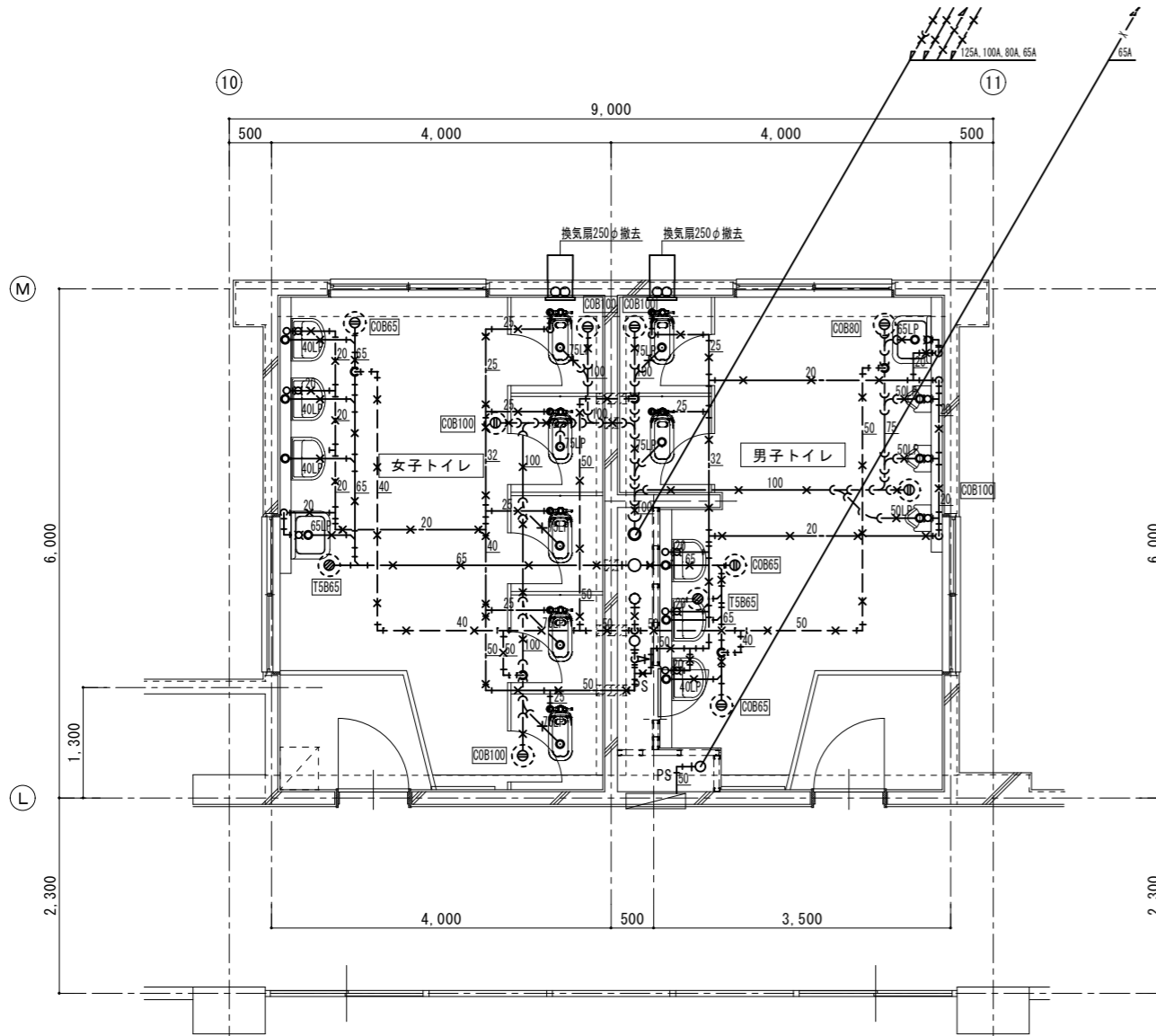
改修前後 普通教室棟 (東側) 1階トイレ平面詳細図 S=1:40

※撤去工事要領

1. 衛生器具を撤去する。
2. 和風便器撤去後の開口部補修は建築工事とする。
3. PS内及び天井内の給排水管（保温共）を撤去する。
4. 換気扇及びびりザ-カバーを撤去する。
5. 消火栓は配管共既存のままとする。

撤去管凡例

記号	名称	仕様
— — — — —	給水管	給水用塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)
— ■ — — —	汚水管	排水用鉄鉄管 (メカニカル)
— × — — —	排水管	配管用鋼管 (白)
— × — — — LP	排水管	排水用鉛管 (HASS)
— × — — —	通気管	配管用鋼管 (白)



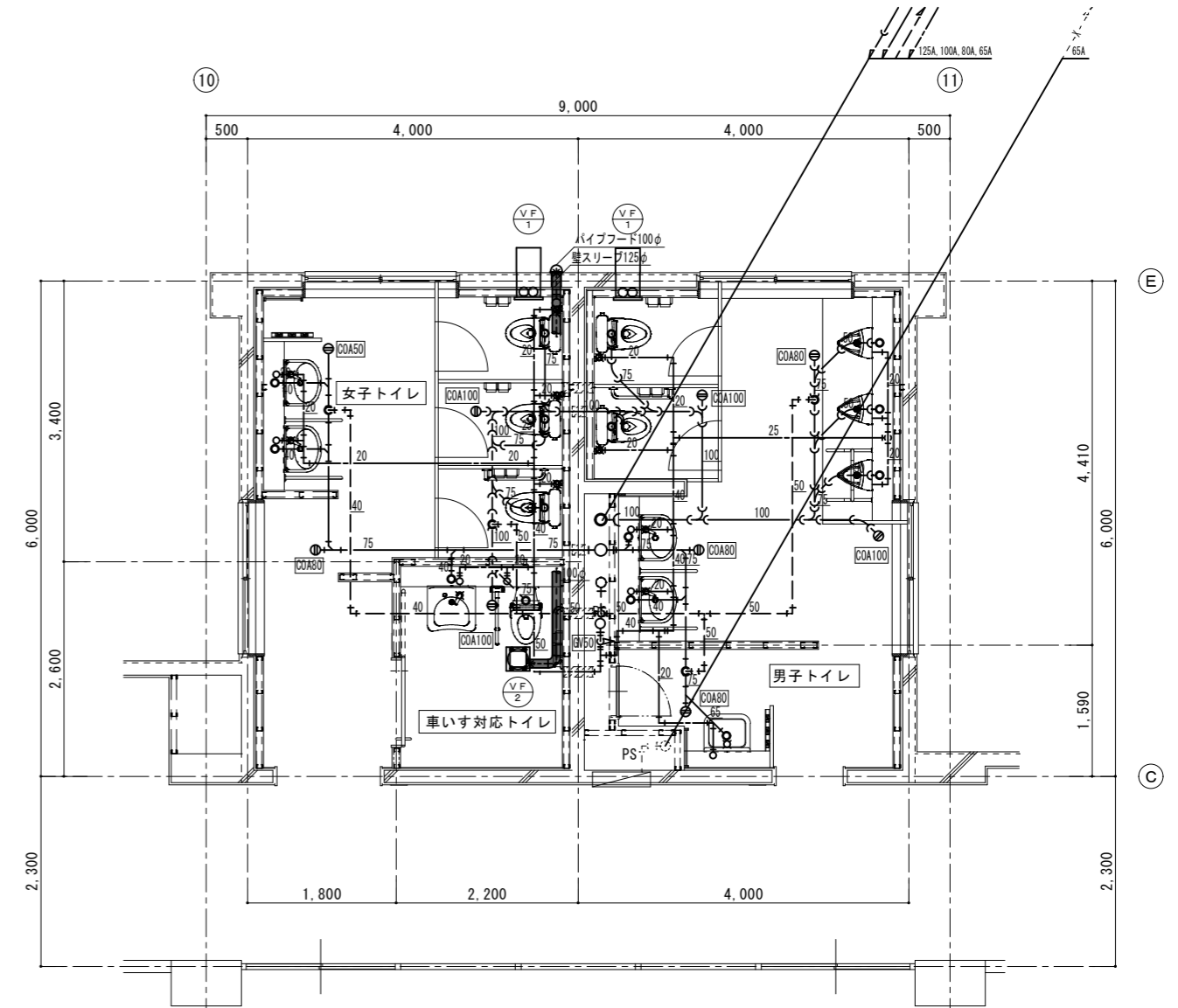
改修前 普通教室棟 (東側) 2階~4階トイレ平面詳細図 S=1:40

※改修工事要領

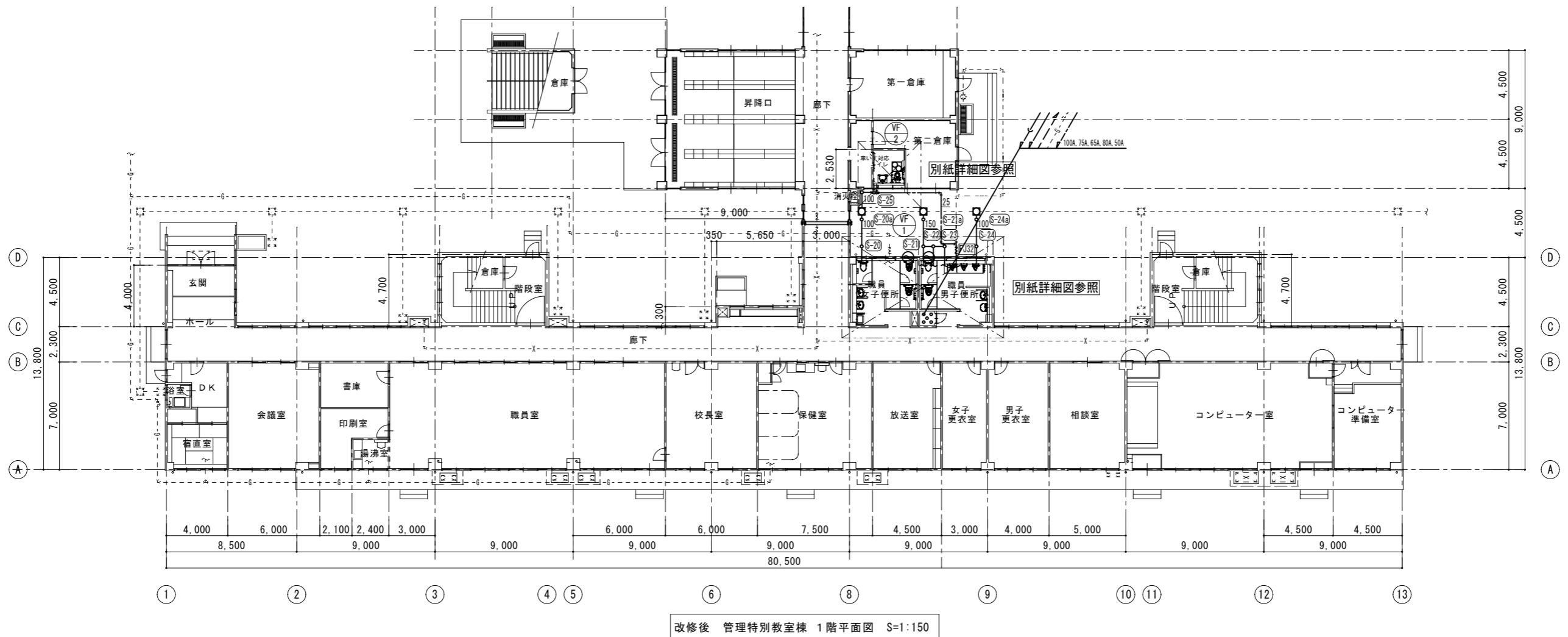
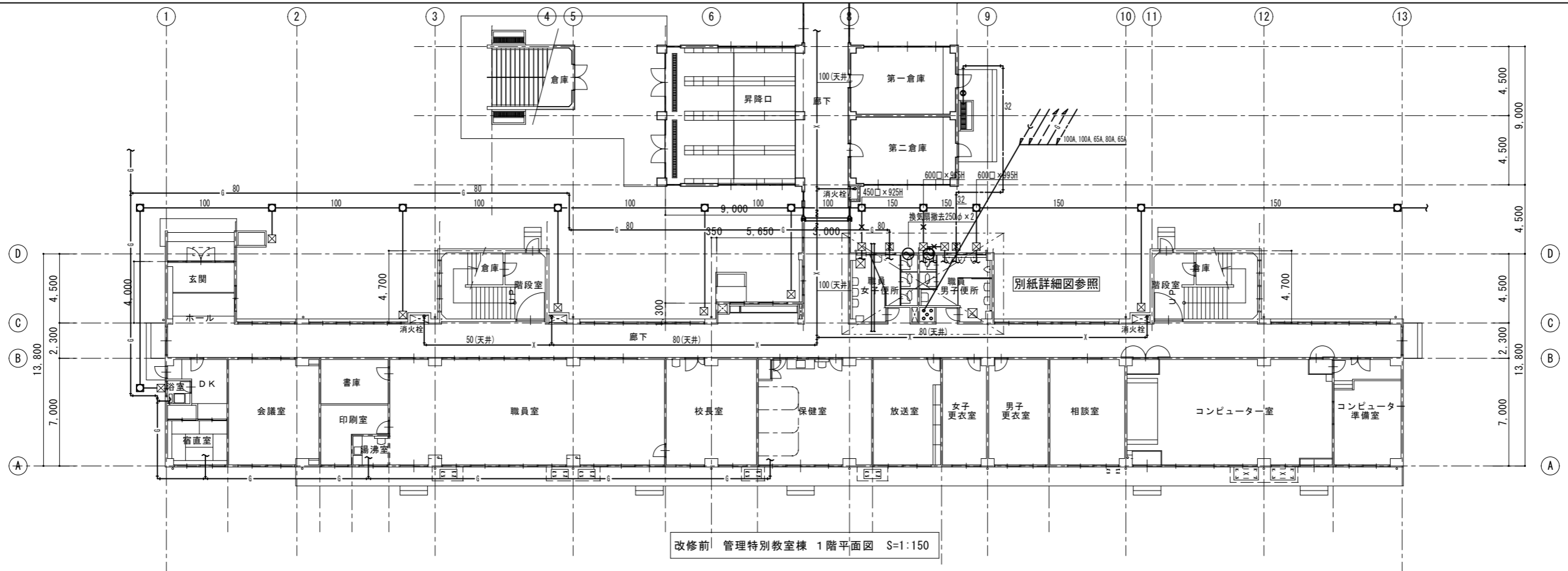
1. 衛生器具及び手すりを新設する。
2. 換気扇・天井扇及びダクトを新設する。
3. 給排水管及び、保温を新設する。
4. 梁及び壁貫のスリーブは既存を利用する。

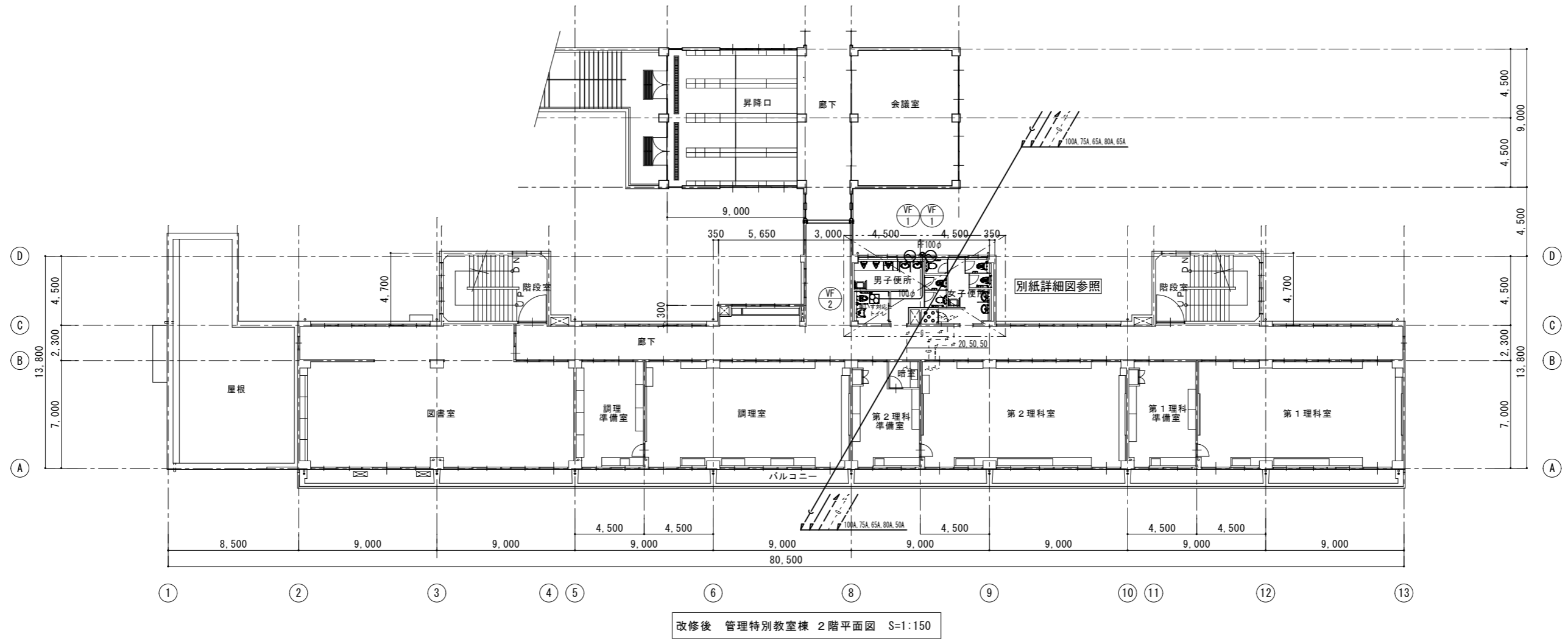
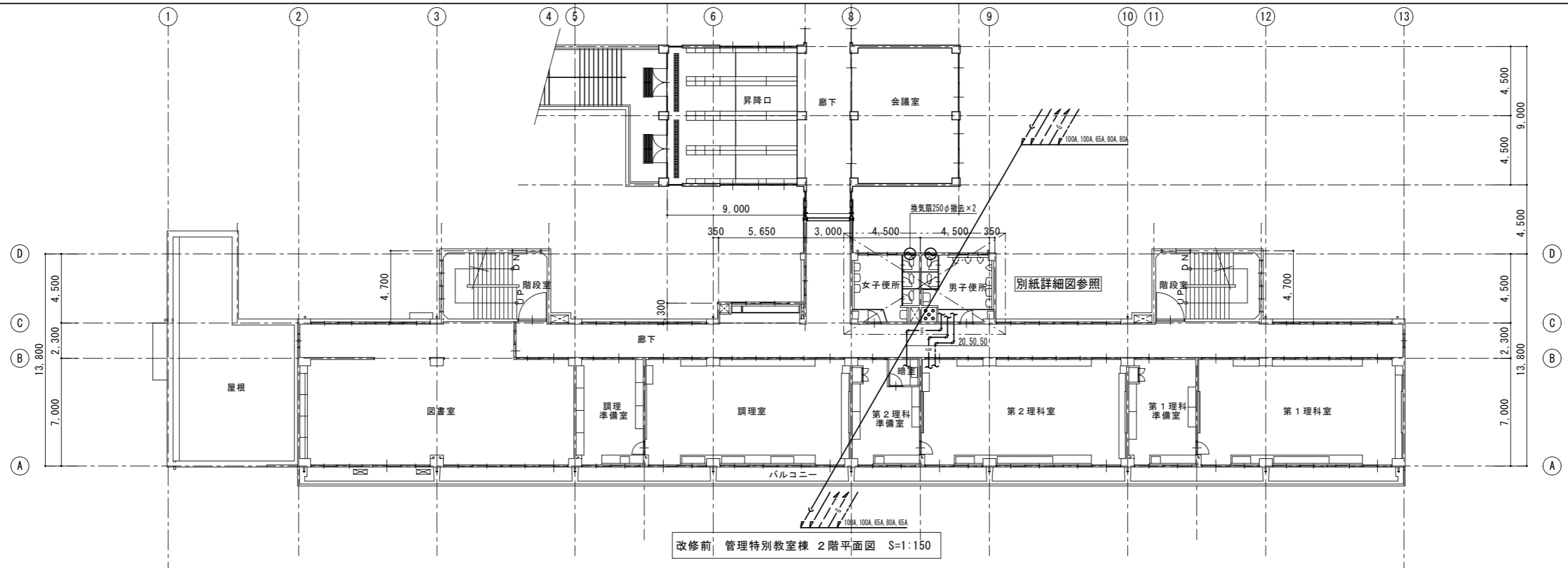
新設管凡例

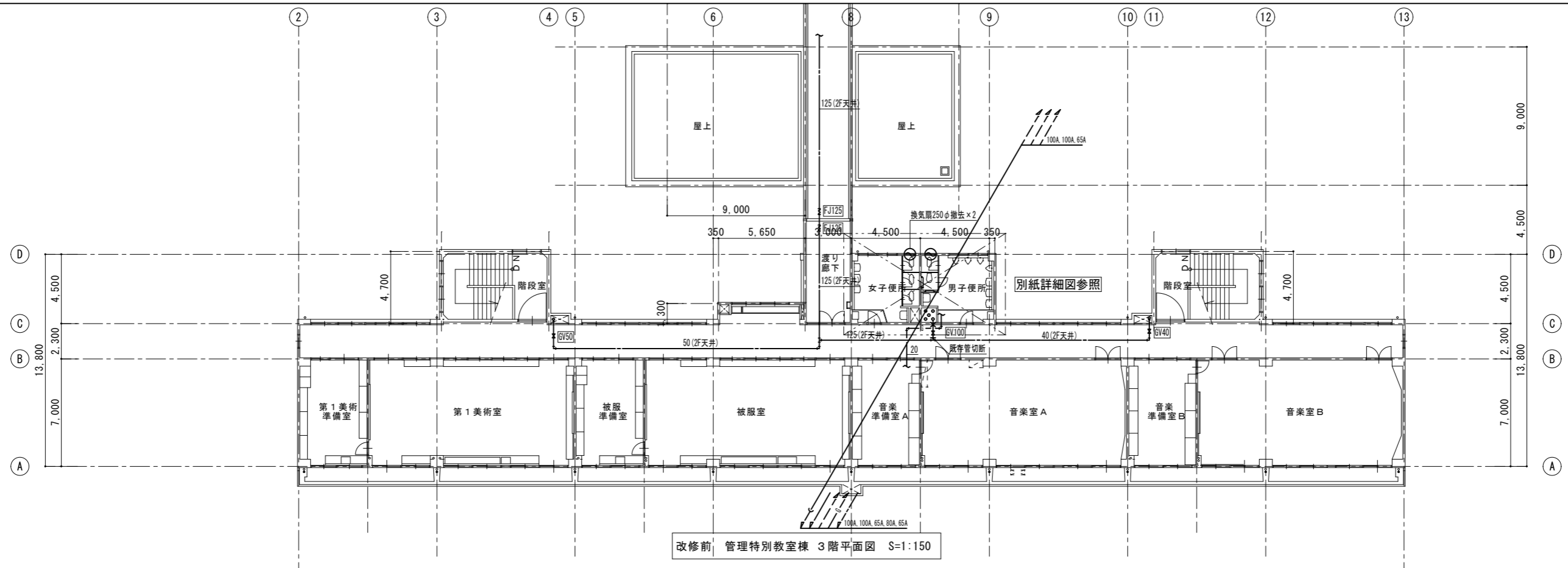
記号	名称	仕様
— — — — —	給水管	給水用耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVP)
— ■ — — —	汚水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
— × — — —	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
— — — — —	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
- - - - -	既存管	



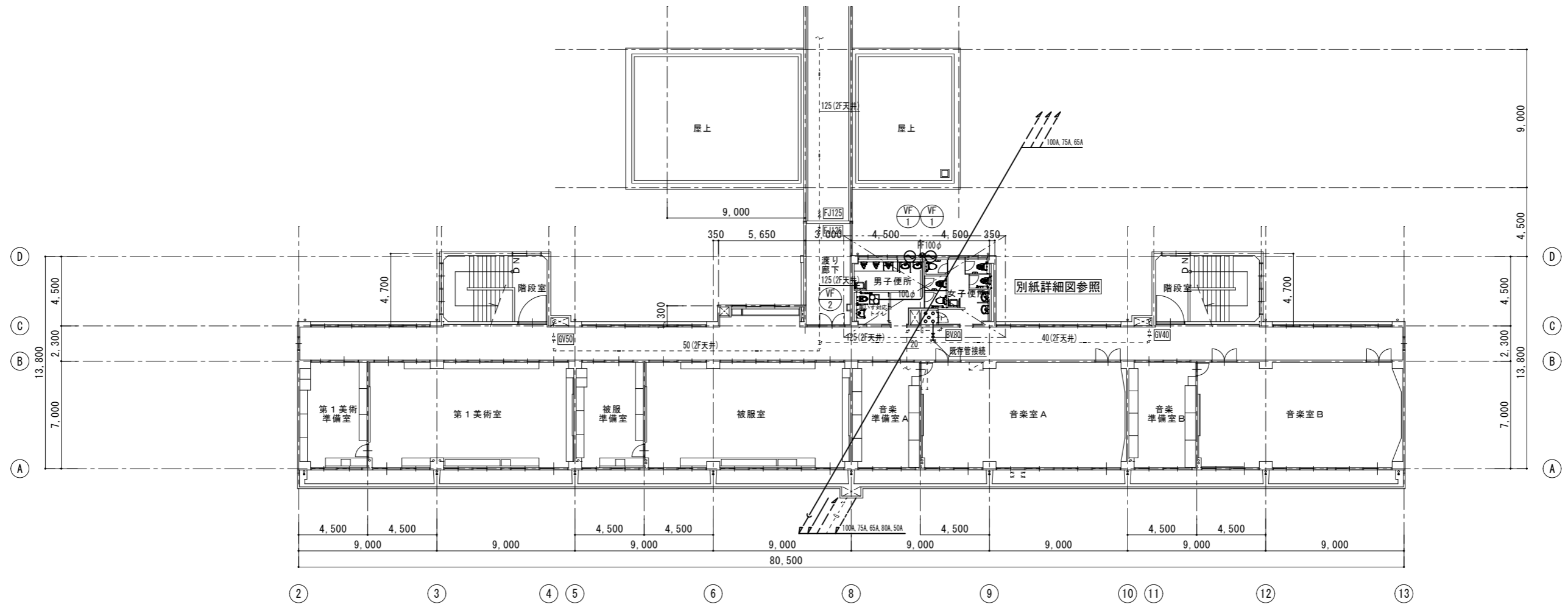
改修前後 普通教室棟 (東側) 2階~4階トイレ平面詳細図 S=1:40







改修前 管理特別教室棟 3階平面図 S=1:150



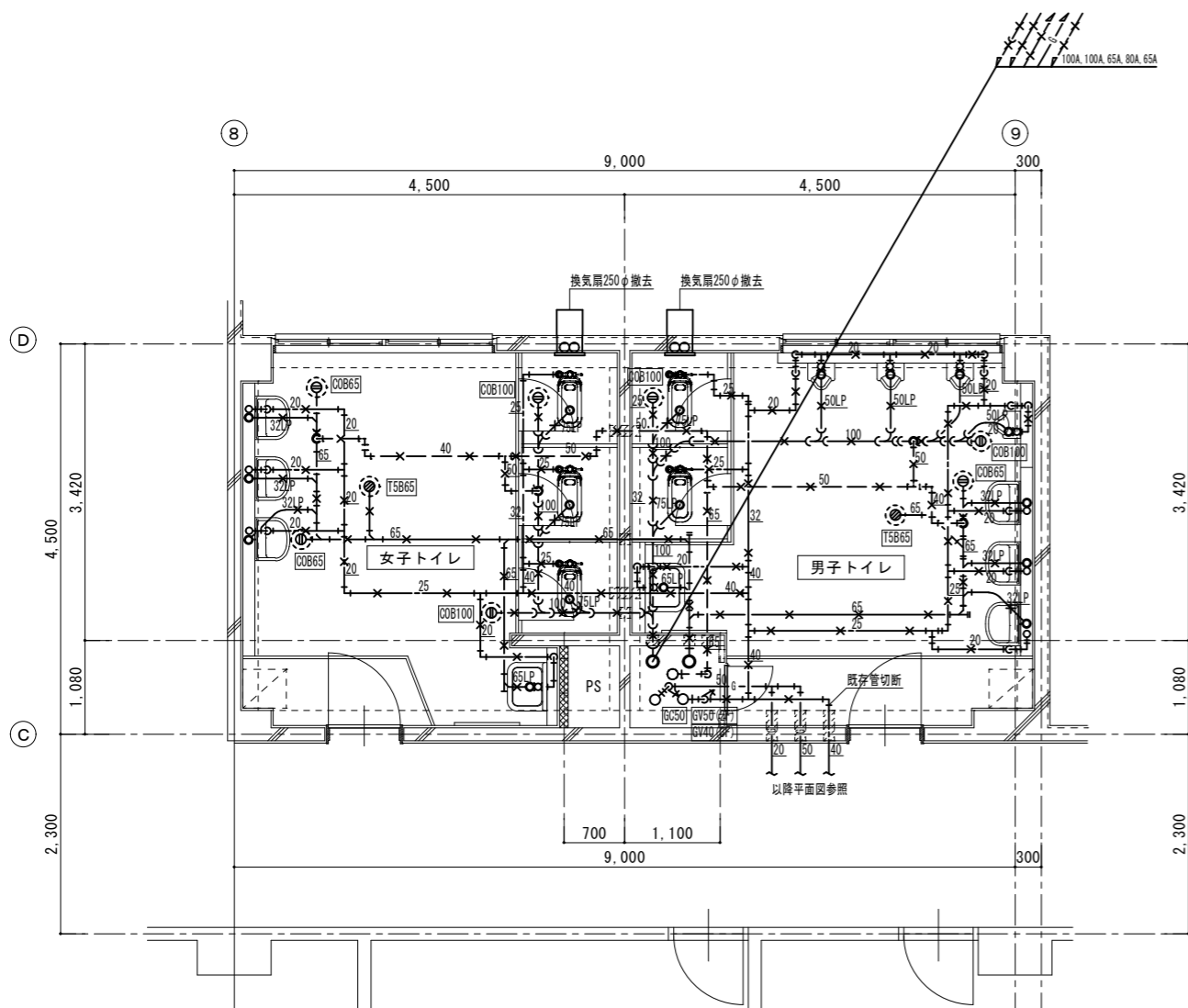
改修後 管理特別教室棟 3階平面図 S=1:150

※撤去工事要領

1. 衛生器具を撤去する。
2. 和風便器撤去後の開口部補修は建築工事とする。
3. P S内及び天井内の給排水管（保温共）を撤去する。
4. 換気扇及びウエザ-カバーを撤去する。
5. ガス配管は既存のままとする。

撤去管凡例

記号	名称	仕様
---x---	給水管	給水用塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)
---x■---	汚水管	排水用鋼鉄管 (メカニカル)
---x---	排水管	配管用鋼管 (白)
---xLP---	排水管	排水用鉛管 (HASS)
---x---	通気管	配管用鋼管 (白)



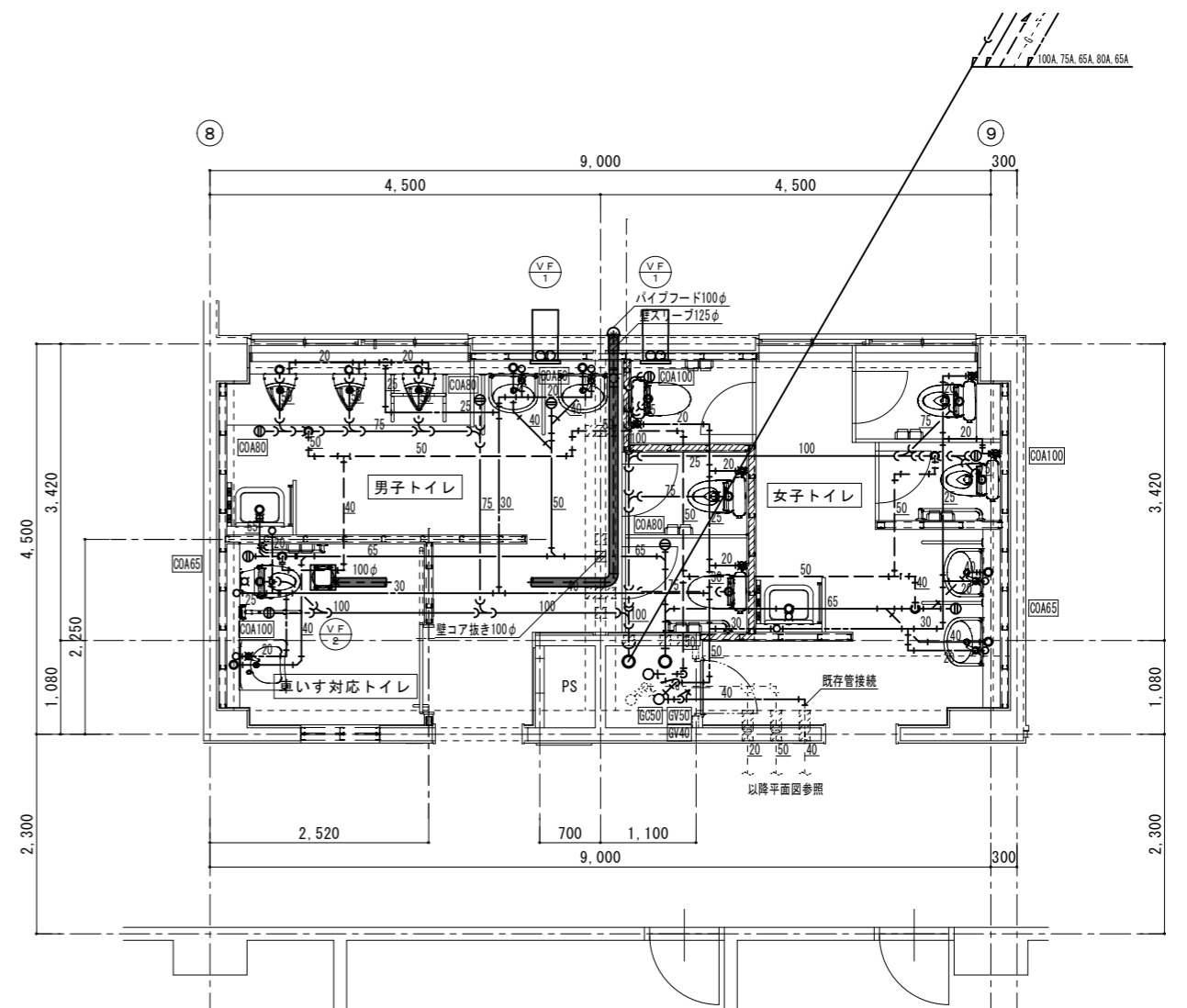
改修前 管理特別教室棟 2階トイレ平面詳細図 S=1:40

※改修工事要領

1. 衛生器具及び手すりを新設する。
2. 換気扇・天井扇及びダクトを新設する。
3. 給排水管及び、保温を新設する。
4. 梁及び壁貫のスリーブは既存を利用する。

新設管凡例

記号	名称	仕様
---	給水管	給水用耐衝撃性塩ビ管 (HIVP)
---■---	汚水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
---	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
---	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
---	換気ダクト	スパイラルダクト
---	既存管	



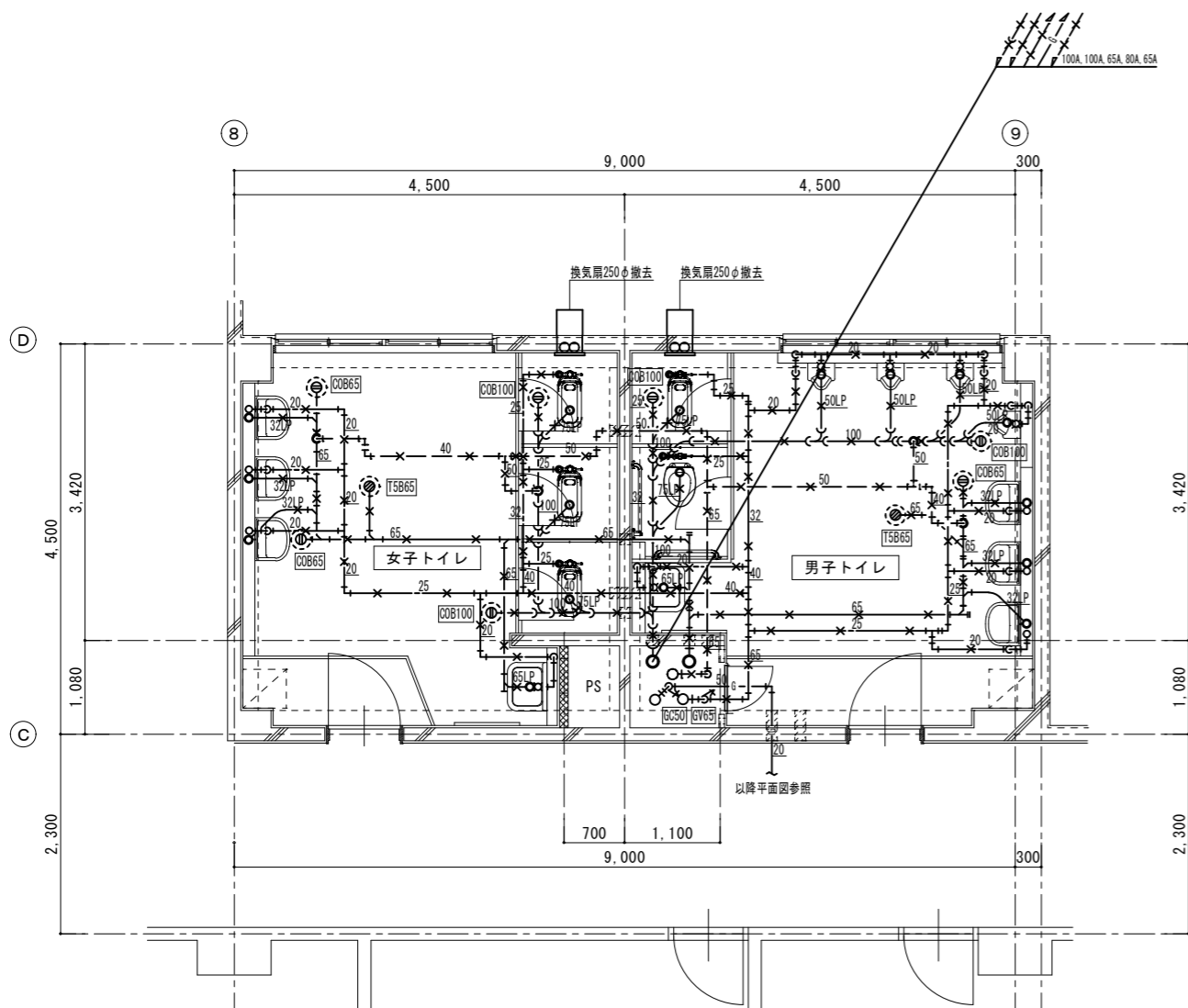
改修後 管理特別教室棟 2階トイレ平面詳細図 S=1:40

※撤去工事要領

1. 衛生器具を撤去する。
2. 和風便器撤去後の開口部補修は建築工事とする。
3. PS内及び天井内の給排水管（保温共）を撤去する。
4. 換気扇及びワイザ-カー-を撤去する。
5. ガス配管は既存のままとする。

撤去管凡例

記号	名称	仕様
---x---	給水管	給水用塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)
---x■---	汚水管	排水用鋼鉄管 (メカニカル)
---x---	排水管	配管用鋼管 (白)
---xLP---	排水管	排水用鉛管 (HASS)
---x---	通気管	配管用鋼管 (白)



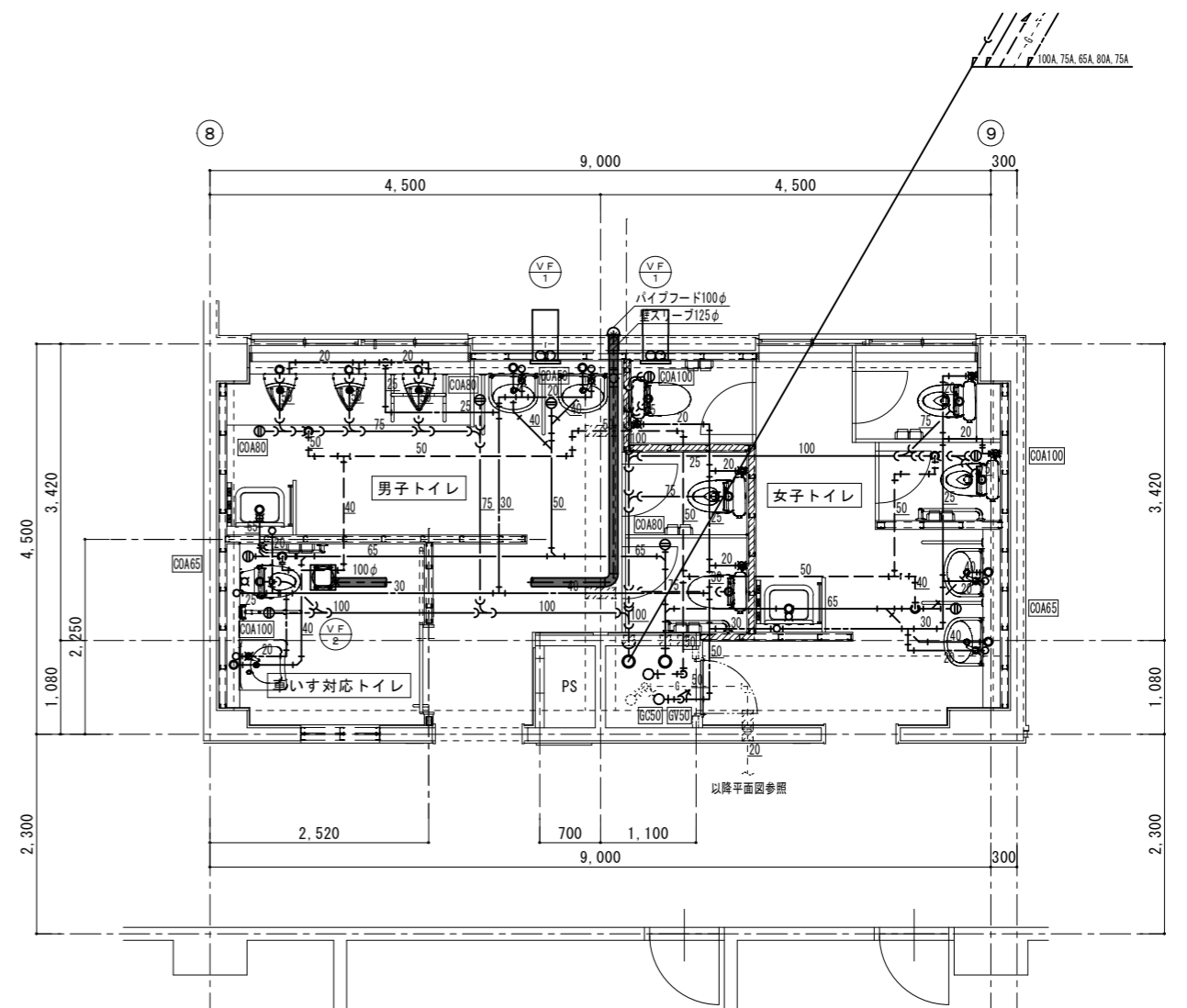
改修前 管理特別教室棟 3階トイレ平面詳細図 S=1:40

※改修工事要領

1. 衛生器具及び手すりを新設する。
2. 換気扇・天井扇及びダクトを新設する。
3. 給排水管及び、保温を新設する。
4. 梁及び壁貫のスリーブは既存を利用する。

新設管凡例

記号	名称	仕様
---■---	給水管	給水用耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVP)
---■---	汚水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
---■---	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
---■---	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
---■---	換気ダクト	スパイラルダクト
---x---	既存管	



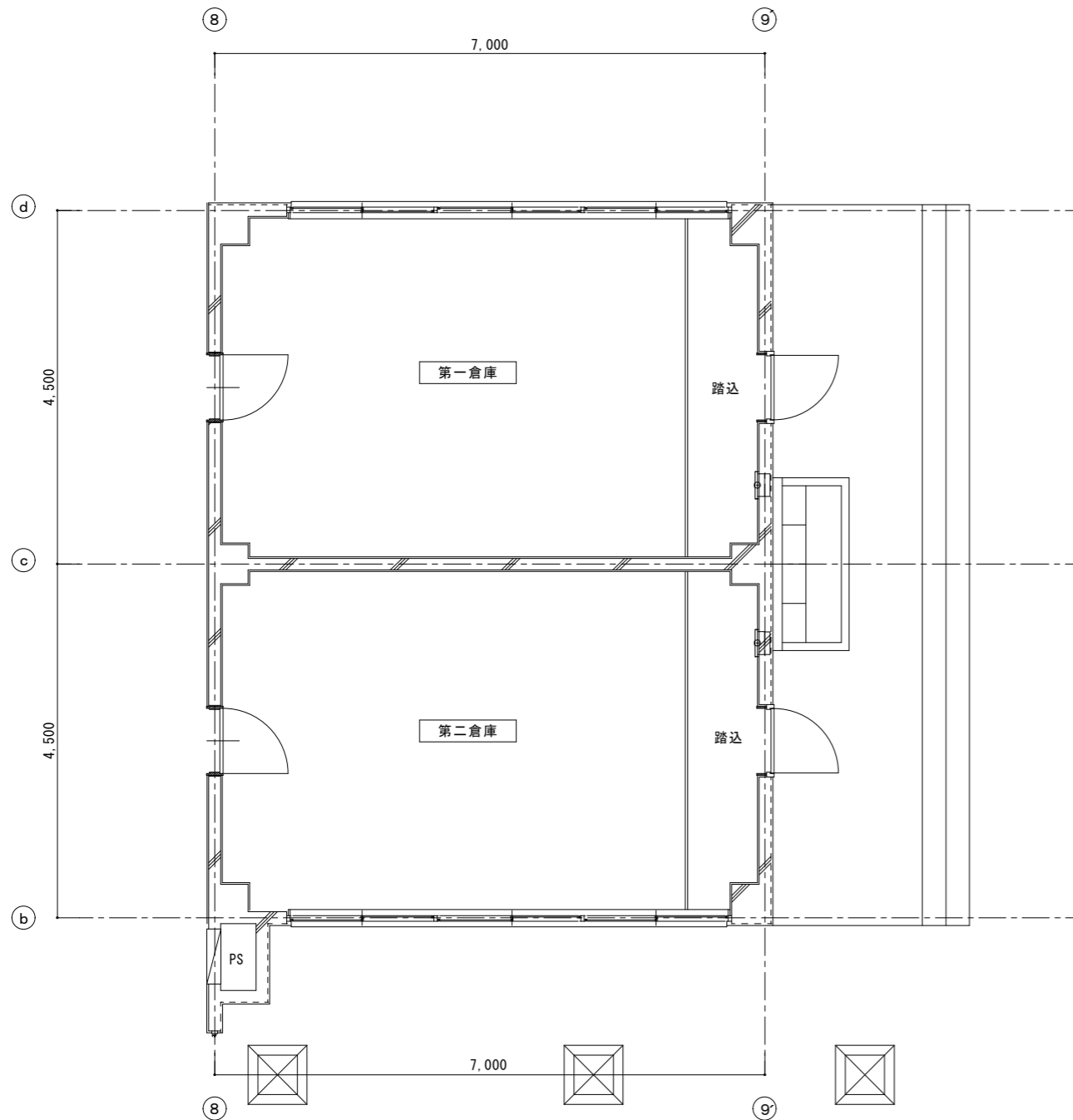
改修後 管理特別教室棟 3階トイレ平面詳細図 S=1:40

※改修工事要領

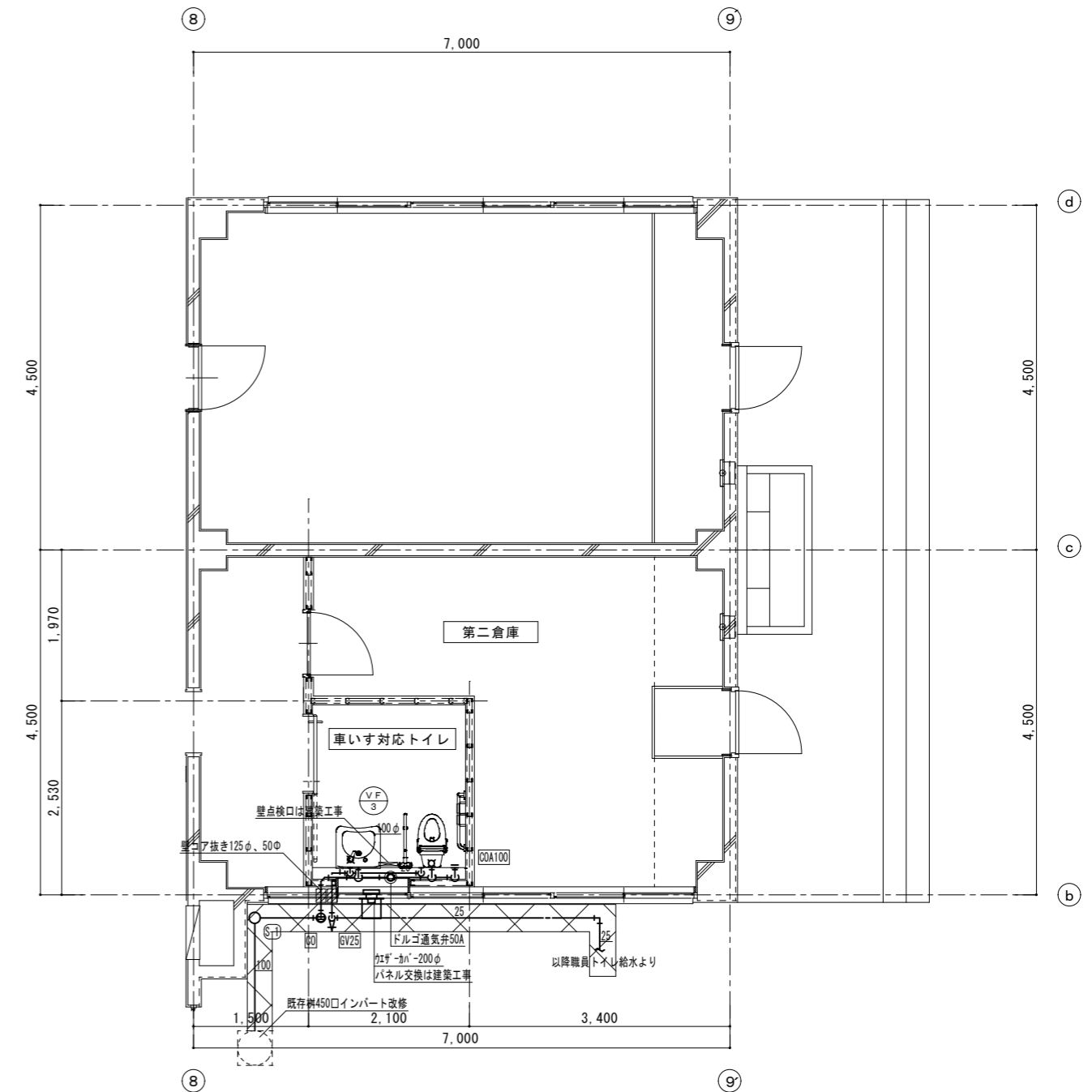
1. 衛生器具及び手すりを新設する。
2. 天井扇及びダクトを新設する。
3. 給排水管及び、保温を新設する。
4. 屋外排水管及び柵を新設する。
5. 土工事は本工事とする。

新設管凡例

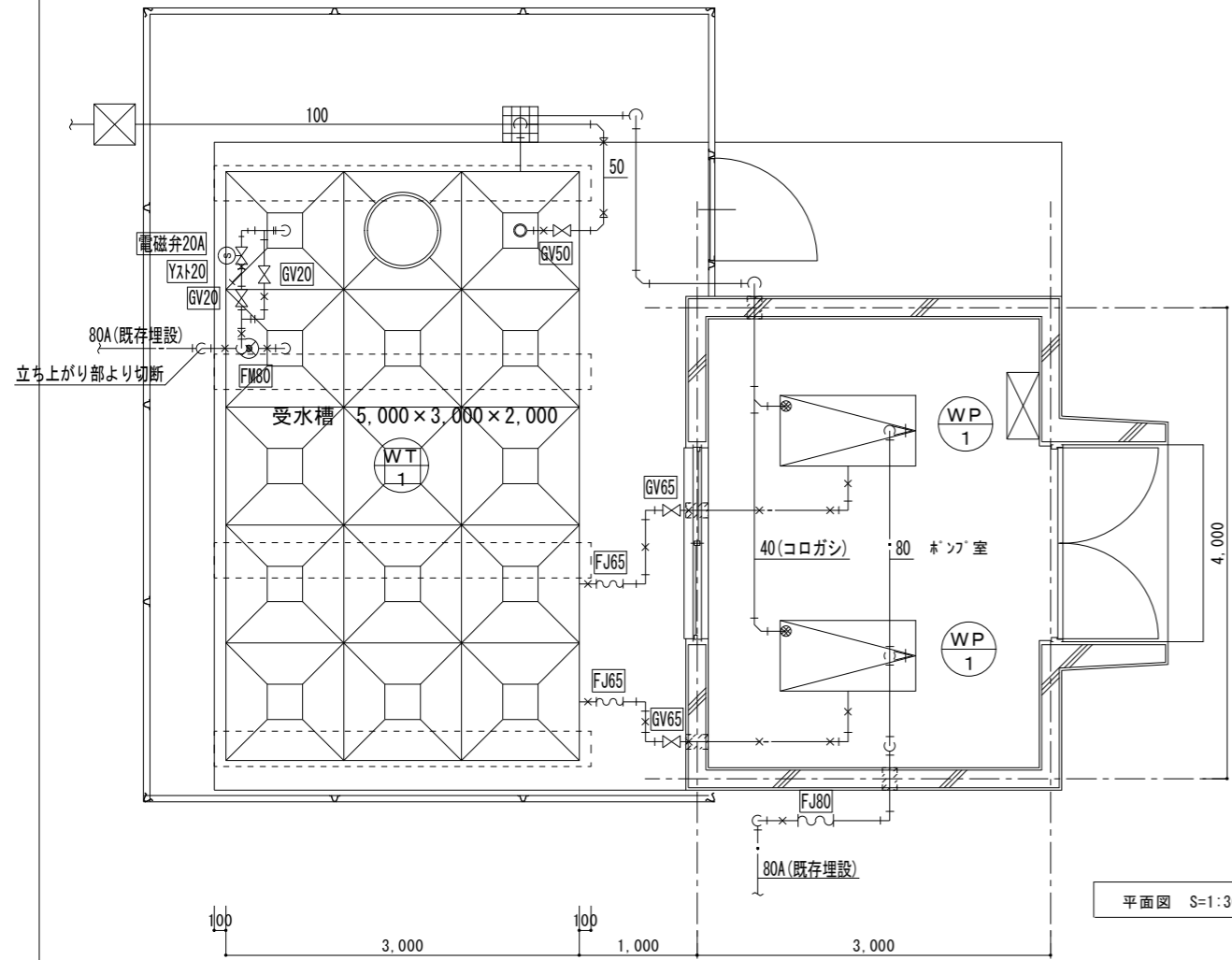
記号	名称	仕様
———	給水管	給水用耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVP)
——■——	汚水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
———	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
- - - - -	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
.....	既存管	
XXXXX	土工事	



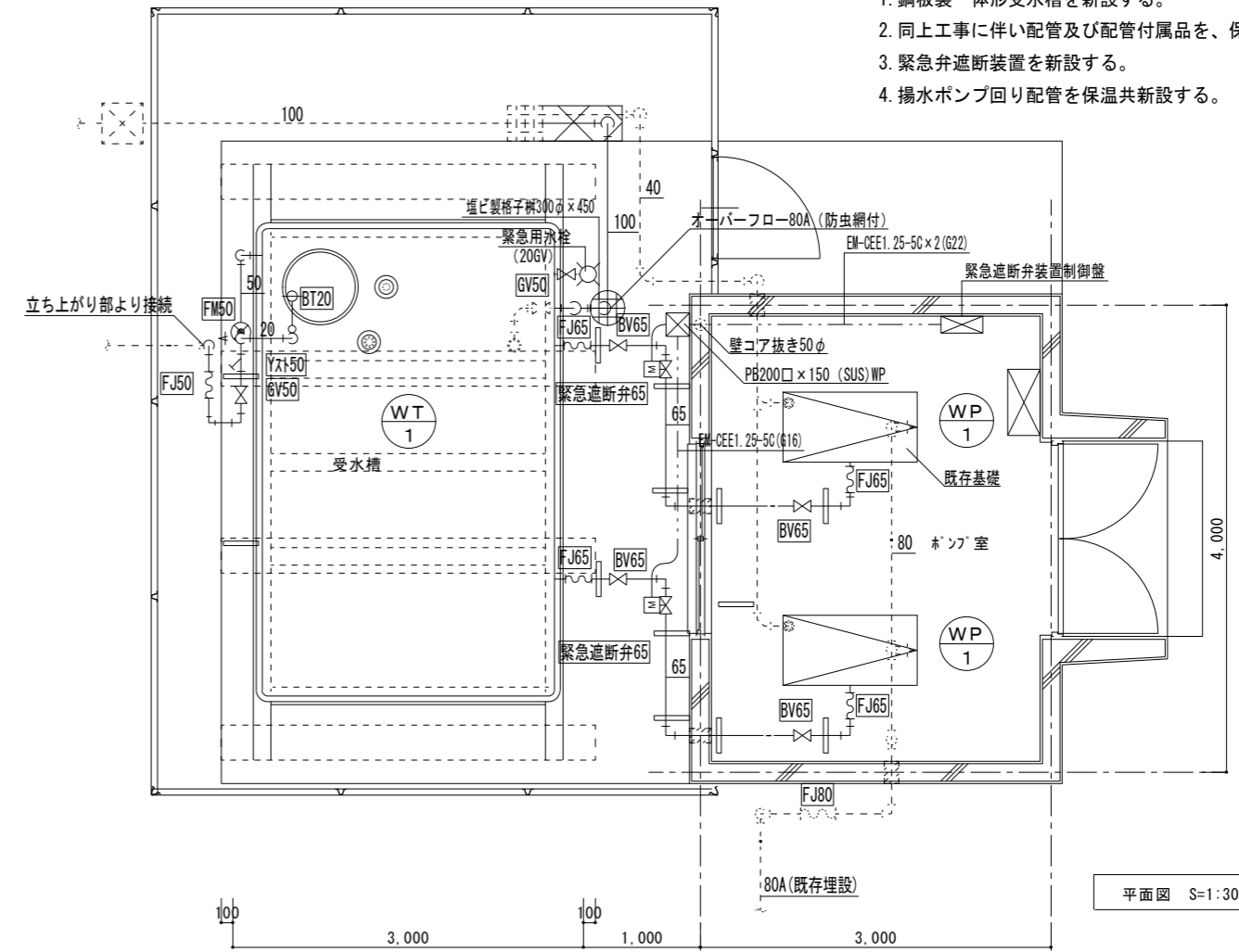
改修前 第二倉庫平面詳細図 S=1:40



改修後 第二倉庫平面詳細図 S=1:40

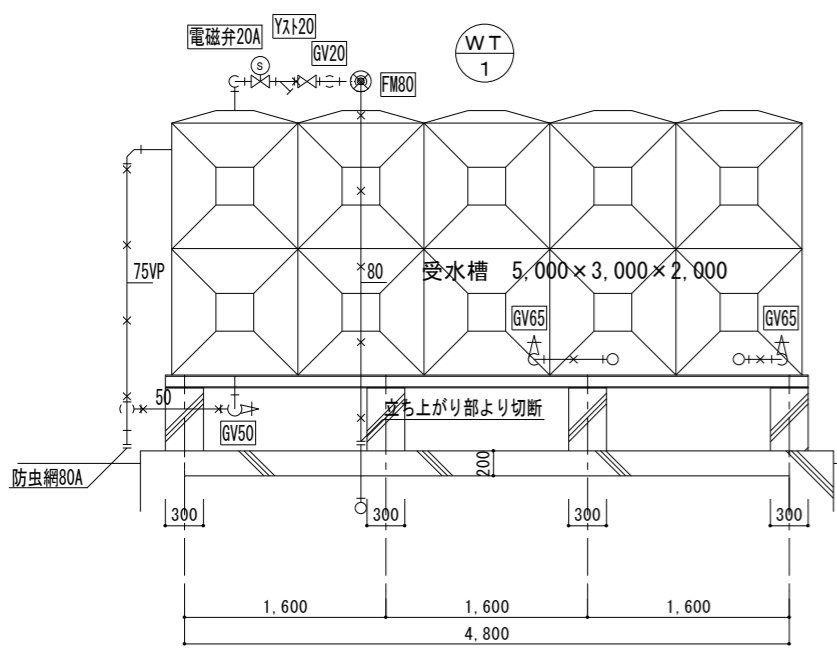


平面図 S=1:30



平面図 S=1:30

- ※改修工事要領
1. 鋼板製一体形受水槽を新設する。
 2. 同上工事に伴い配管及び配管付属品を、保温共新設する。
 3. 緊急弁遮断装置を新設する。
 4. 揚水ポンプ回り配管を保温共新設する。

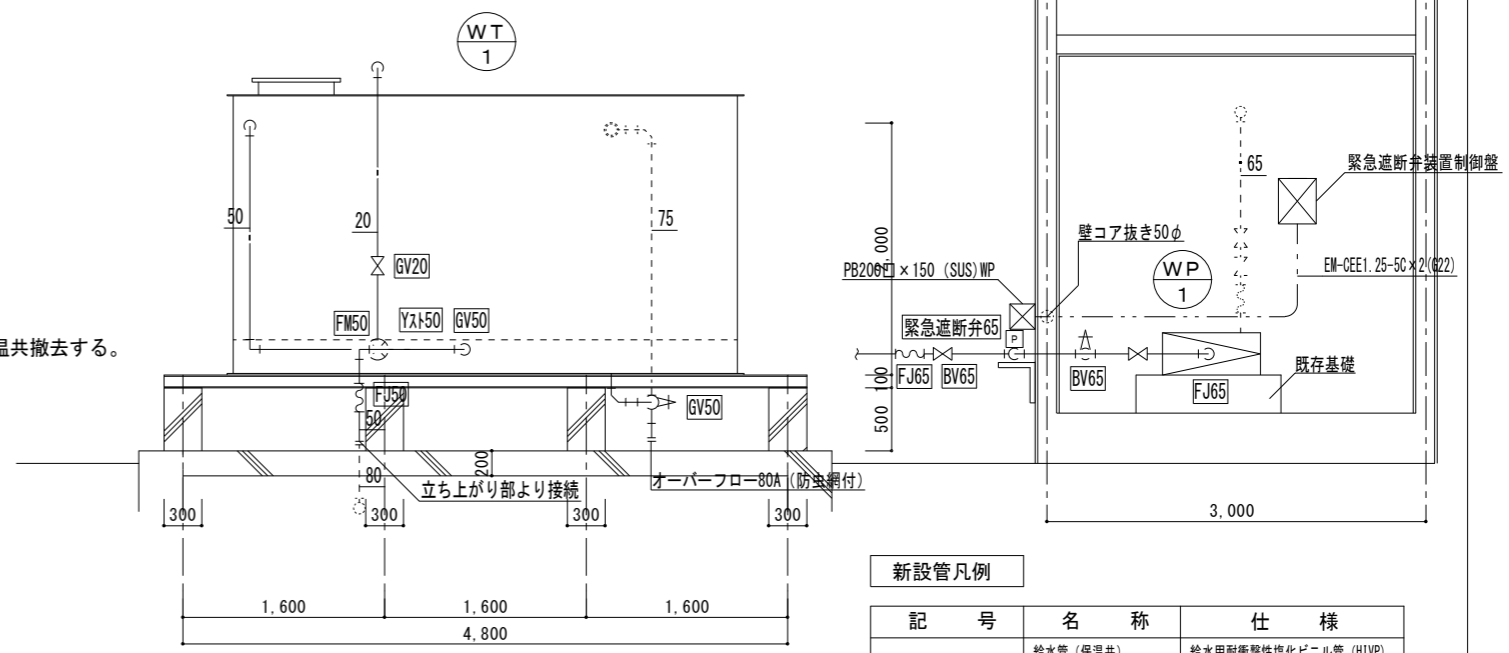


断面図図 S=1:30

- ※撤去工事要領
1. FRPパネル組み立て形受水槽を撤去する。
 2. 同上工事に伴い配管及び配管付属品を、保温共撤去する。
 3. 揚水ポンプ回り配管を保温共撤去する。
 4. コンクリート基礎は再使用する。

撤去管凡例

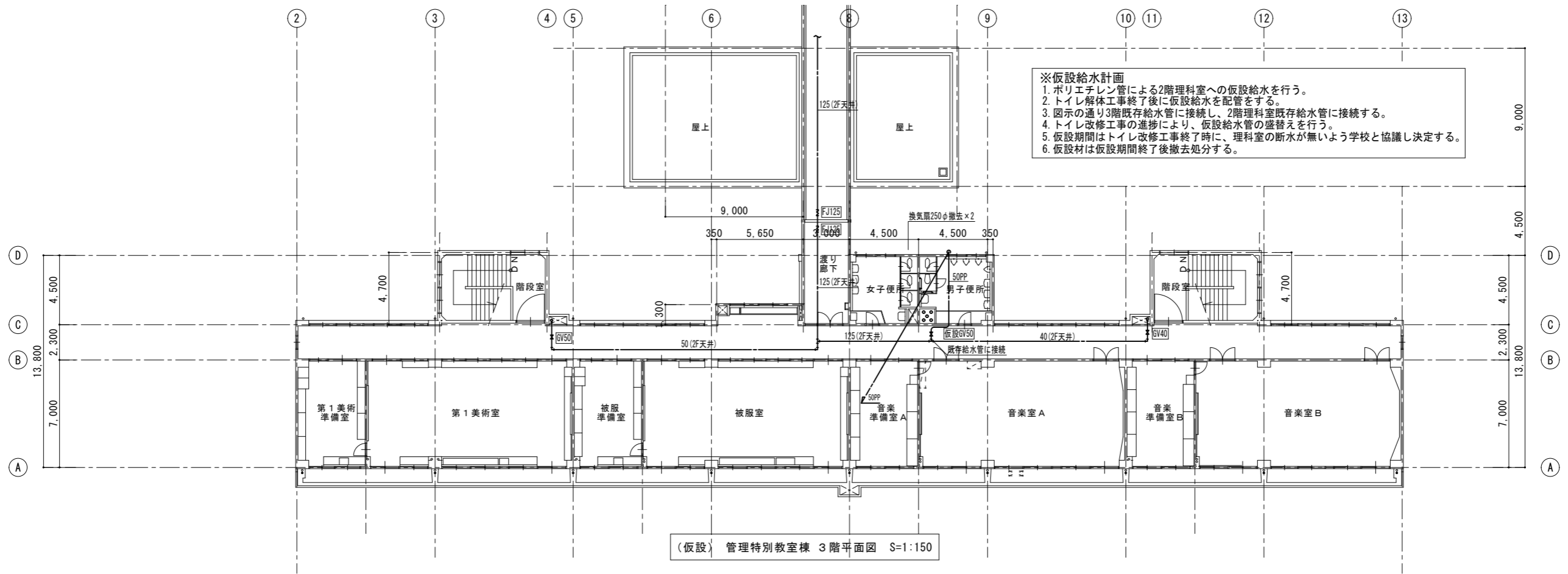
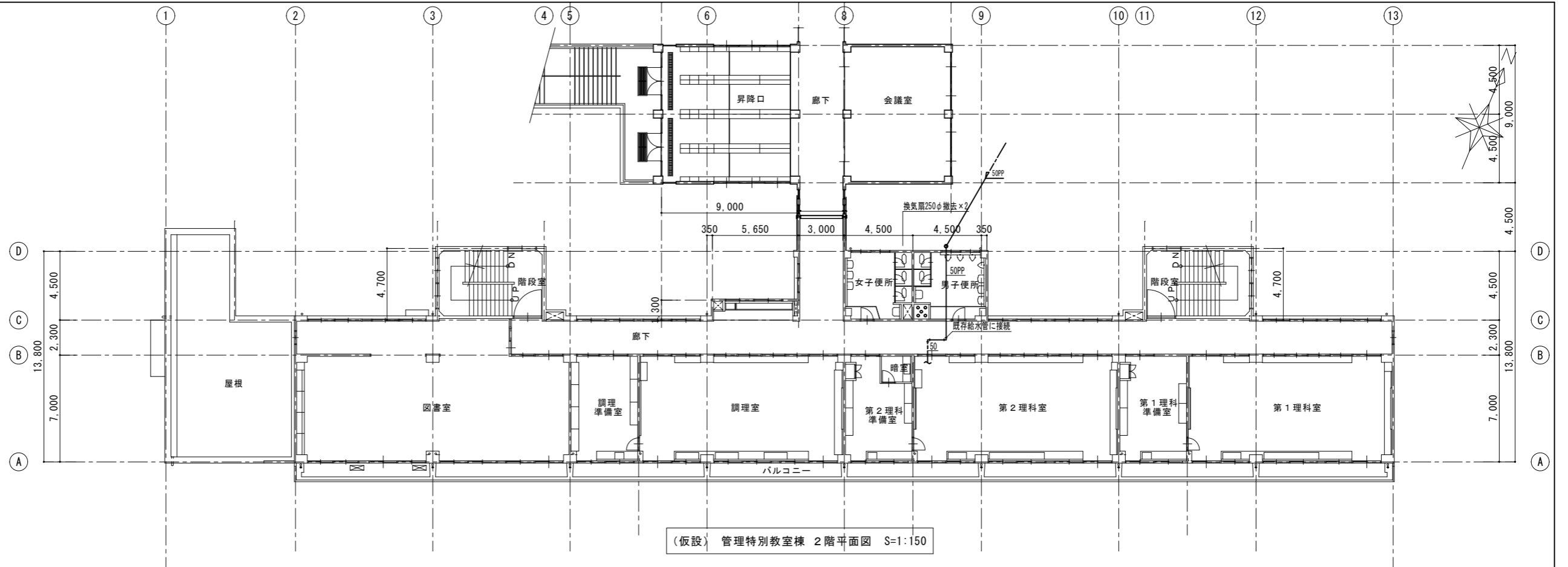
記号	名称	仕様
—x—x—	給水管 (保温共)	給水用塩化ビニル管 (SGP-VB)
—x—x—	給水管 (保温なし)	給水用塩化ビニル管 (TSVP)
—x—x—	排水管	塩化ビニル管 (VP)

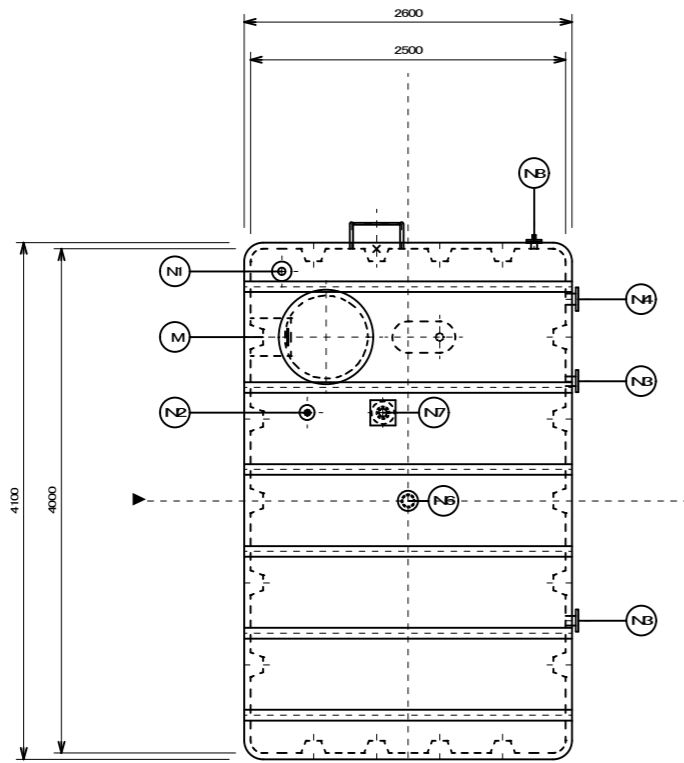


断面図図 S=1:30

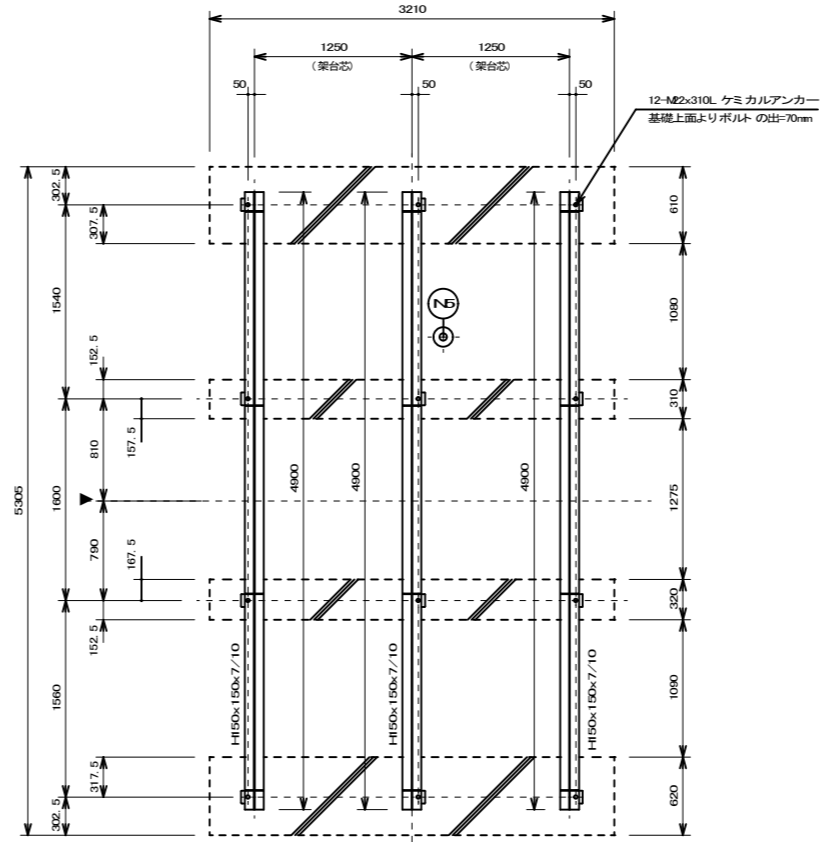
新設管凡例

記号	名称	仕様
—x—x—	給水管 (保温共)	給水用耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVP)
—x—x—	給水管 (保温なし)	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
—x—x—	排水管	塩化ビニル管 (VP)
—x—x—	既存管	
—x—x—	土工事	

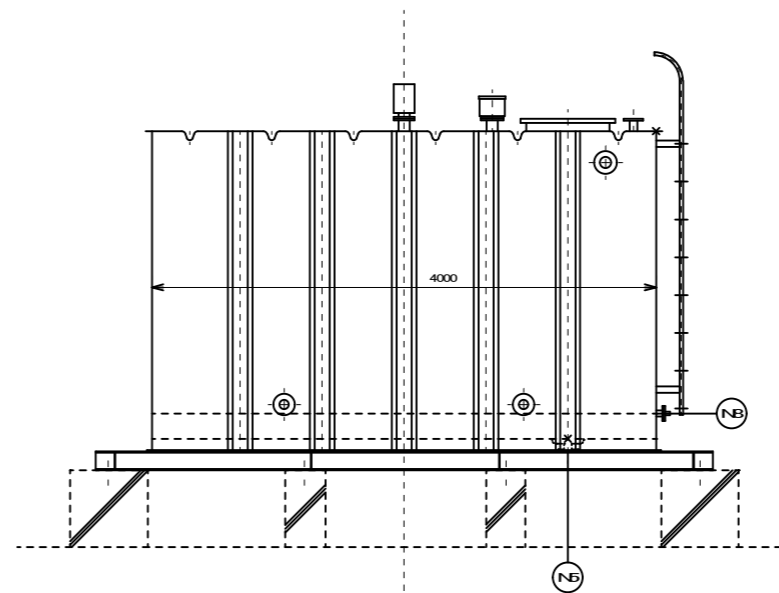
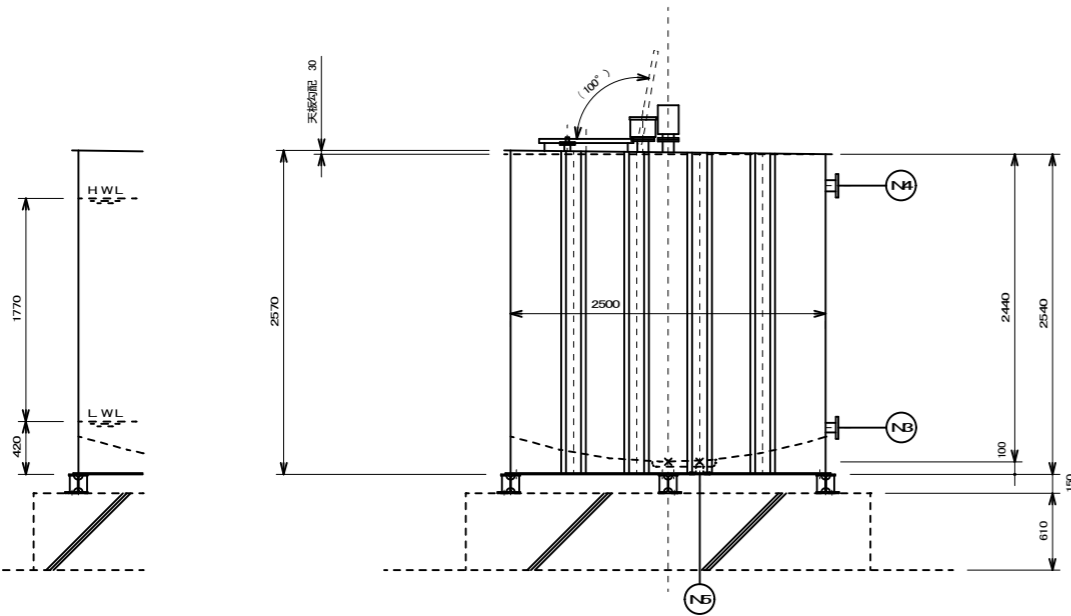




ポンプ室側



アンカーボルト位置図
(既設基礎使用)



符号	名称	呼数	管材	継手	備考
N-1	給水口	50A	SGP	JIS10KF	防錆(PVC)
N-2	給水口	20A	SUS304	フタ	ボルトナット
N-3	揚水口	65A	SGP	JIS10KF	
N-4	溢水口	80A	SGP	JIS10KF	
N-5	排水口	50A	SGP	JIS10KF	
N-6	通気口	80A	SGP	JIS5KF	防錆(PVC)
N-7	電極座	65A	PVC	フタ	防錆 フランジナット (PVC)
N-8	緊急時採水口	20A	SUS304	フタ	ソケット付フランジ
M	マンホール	650	SS400	-	蓋カバー

マンホールは内蓋付とする(合成樹脂製)
外面のフランジ材質はSS400とする

国土交通省告示構造基準適合品	
鋼板製一体型水槽	
槽の仕様	材質 SS400
容量	呼称= 有効=1.7 m ³
板厚	天=4.5 mm側=4.5 mm底=6.0 mm (JIS規格使用)
製品質量	水槽=2720 kg 架台=500 kg
防食仕様	材質 厚生労働省告示基準 適合エポキシ樹脂 内面施工 加酸硬化型エポキシライニング NE-204 厚さ=0.4 mm以上 外面施工 加酸硬化型エポキシライニング NE-204 厚さ=0.2 mm以上 施工法 無溶剤型ホットエアレススプレー
外装色	指定色
設計震度	KH=1.5 KV=0.75
内梯子	合成樹脂製
外梯子	SGPの上溶融鉛メッキ仕上(HDZT49)
架台施工	SS400の上溶融鉛メッキ仕上(HDZT49)
ボルト・ナット	水槽内部 気相部 SUS304 液相部 SUS304 電極座及び通気口 硬質塩化ビニル マンホール SUS304 水槽外部 アンカーボルト・ナット SUS304 その他の部分 (S鋼材 溶融鉛メッキHDZT49)

付属品	
緊急遮断弁	65A JIS10K (ノダフライ弁) 2ヶ
緊急遮断弁制御盤	(バッテリー警報ランプ付) 1ヶ